



**平成28年度**

**真名川ダム・九頭竜ダム  
水源地域ビジョン推進委員会**

**平成29年3月**

## ダム管理・運用状況【ダムの役割】 \_\_\_\_\_ 3

### 水源地域活性化のための活動 \_\_\_\_\_ 11

1.	森と湖に親しむ旬間行事 _____	森林	水	交流	13
2.	平成28年度「日帰り留学」 _____	森林	水	交流	20
3.	九頭竜新緑まつり・紅葉まつりでのパネル展示 _____	森林		交流	22
4.	防災パネル展 _____		水	交流	24
5.	ダム湖周辺の紅葉情報提供 _____	森林		交流	25
6.	九頭竜ダム展示室 _____			交流	27
7.	ダムカードの配布 _____			交流	28
8.	流木の有効活用 _____	森林		交流	29
9.	真名川ダム・九頭竜ダム水源地域ビジョンHP更新状況 _____	森林	水	交流	30
10.	越前おおの湧水文化再生計画 _____	森林	水		31
11.	水への恩返し Carrying Water Project _____		水	交流	34
12.	大野市森・水保全条例 _____	森林	水		37
13.	越前おおのエコフィールド _____	森林		交流	38
14.	カヌーを使った水辺の安全教室 _____		水	交流	42
15.	化石発掘体験 _____	森林	水	交流	43
16.	真名川河川敷サイクリングコース整備 _____			交流	44
新規	17. 大野市とモンベルの協定締結 _____			交流	46
	18. 大野市の観光客数が過去最多の212万人 _____			交流	47
	19. 「九頭竜川クリーンアップ大作戦」を開催！ _____			交流	48
	20. NPO法人九頭竜自然楽校 _____	森林	水	交流	49
	21. ノーム自然環境教育事務所 _____	森林	水	交流	50

### ダムによる地域貢献について \_\_\_\_\_ 52

### 水源地域ビジョンの推進に関するアンケート \_\_\_\_\_ 62

# ダムの管理・運用状況【ダムの役割】

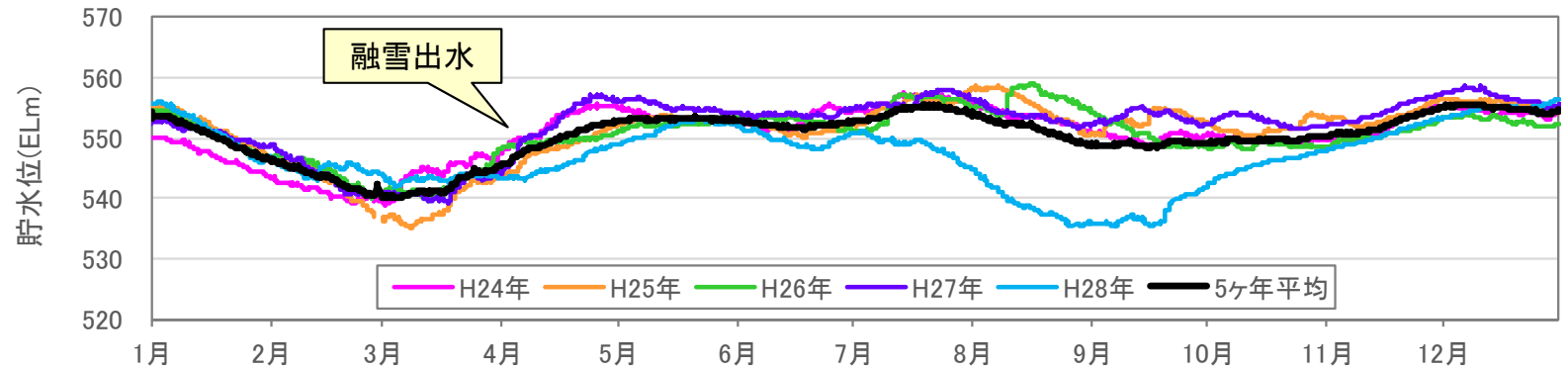
九頭竜川ダム統合管理事務所では、より効果的・効率的に、洪水や渇水の被害から地域を守るため九頭竜ダムと真名川ダムを統合管理して運用するとともに、環境保全や地域振興に関する取り組み等を行っている。

## ダム貯水位の状況

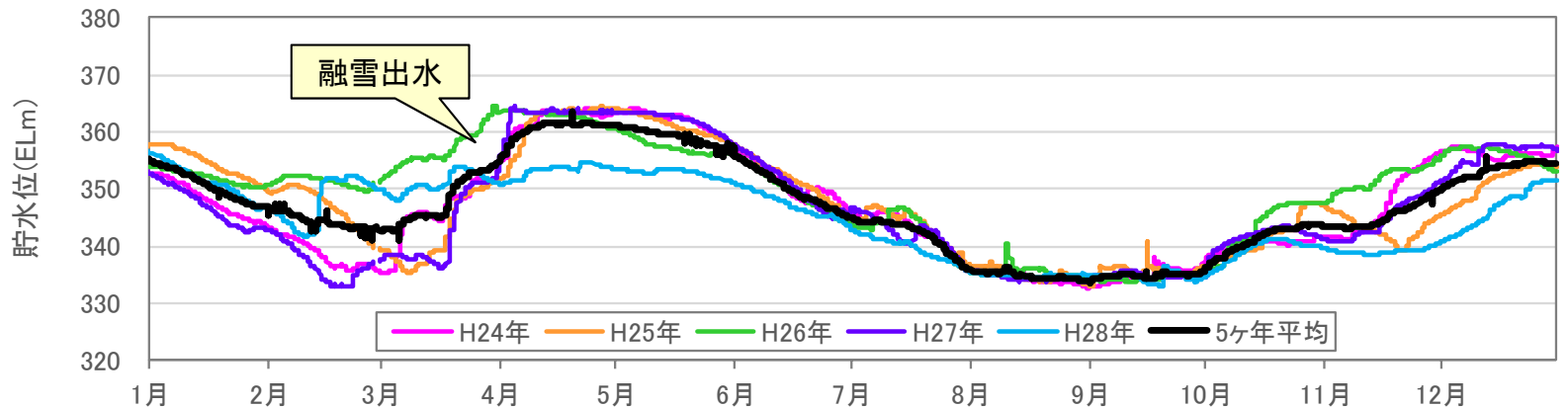
九頭竜ダムの貯水位は、2月下旬にEL+540m付近まで低下し、融雪水が流入する3～4月に貯水位が上昇する。5～12月は概ねEL+550～560mで推移する。

真名川ダムの貯水位も同様に、2月下旬にEL+340m付近まで低下し、融雪水が流入する3～4月に貯水位が上昇し、かんがい期前の4月下旬にEL+360m程度となる。その後は貯水位を低下させ、8～9月頃はEL+335m付近で貯水位を管理している。

### 九頭竜ダム



### 真名川ダム



# ダムのお出水状況

平成24年～28年の5年間で、九頭竜ダムでは8回、真名川ダムでは2回の洪水調節を行っている。

平成28年9月の台風16号では九頭竜ダムで約702万m<sup>3</sup>(東京ドーム約5.7杯分)の洪水を全量貯留し、ダム下流朝日地点(大野市朝日町付近)で約1.3m程度の水位を低減させた。

この台風では、真名川ダムへの流入量は洪水調節流量の500m<sup>3</sup>/sに達していなかったが、ダムに洪水を貯留し、ダム下流河川の水位を低減させた。

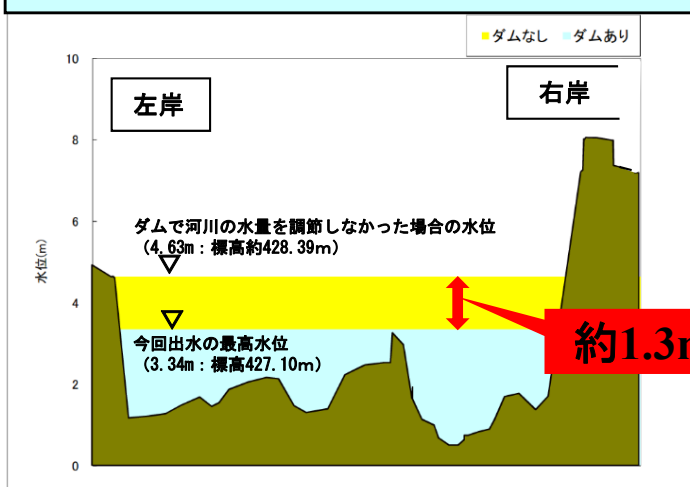
## 九頭竜ダム

洪水調節実施日	要因	最大流入量(m <sup>3</sup> /s)	最大放流量(m <sup>3</sup> /s)	最大流入時放流量(m <sup>3</sup> /s)	調節量(m <sup>3</sup> /s)
H24.4.3	低気圧	362	135	129	233
H24.6.19	台風4号	294	0	0	294
H25.9.4	台風17号	435	190	0	435
H25.9.16	台風18号	576	62	0	576
H26.7.10	台風8号	684	119	0	684
H26.8.10	台風11号	825	0	0	825
H26.10.14	台風19号	283	0	0	283
H28.9.19	台風16号	623	0	0	623

## 真名川ダム

洪水調節実施日	要因	最大流入量(m <sup>3</sup> /s)	最大放流量(m <sup>3</sup> /s)	最大流入時放流量(m <sup>3</sup> /s)	調節量(m <sup>3</sup> /s)
H26.8.10	台風11号	544	159	151	393
H28.9.19	台風16号	289	123	14	275

朝日地点における水位低減効果



約1.3m水位低減



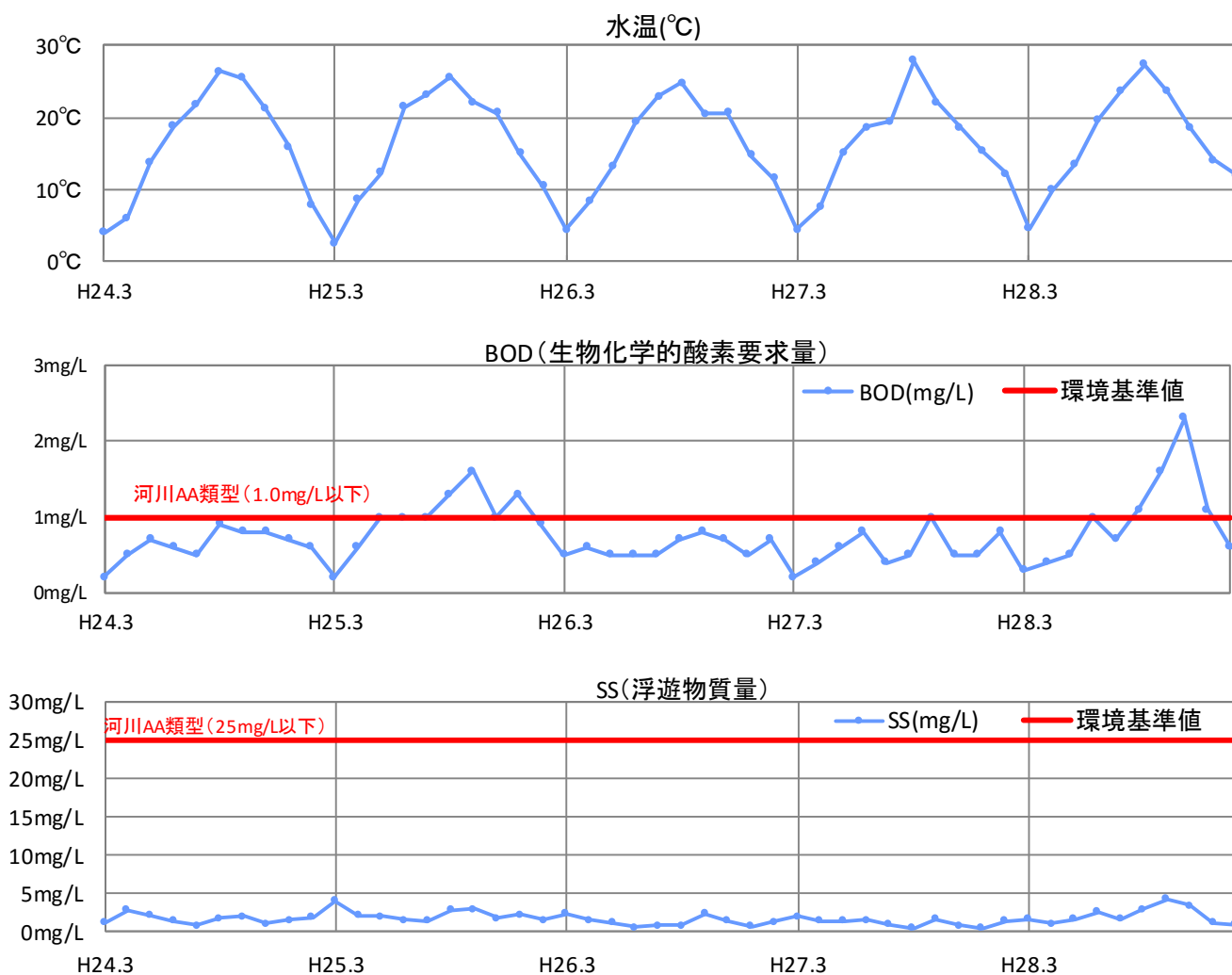
# ダム湖の水質

## 九頭竜ダム

平成24年～28年のダム湖の水質調査結果(抜粋)を示す。

九頭竜ダムは環境基準の中で最も厳しい(きれいな)AA類型に指定されている。BODがAA類型の基準値を超えている期間があるが、SSは基準値を満足しており、比較的安定した水質であることがうかがえる。

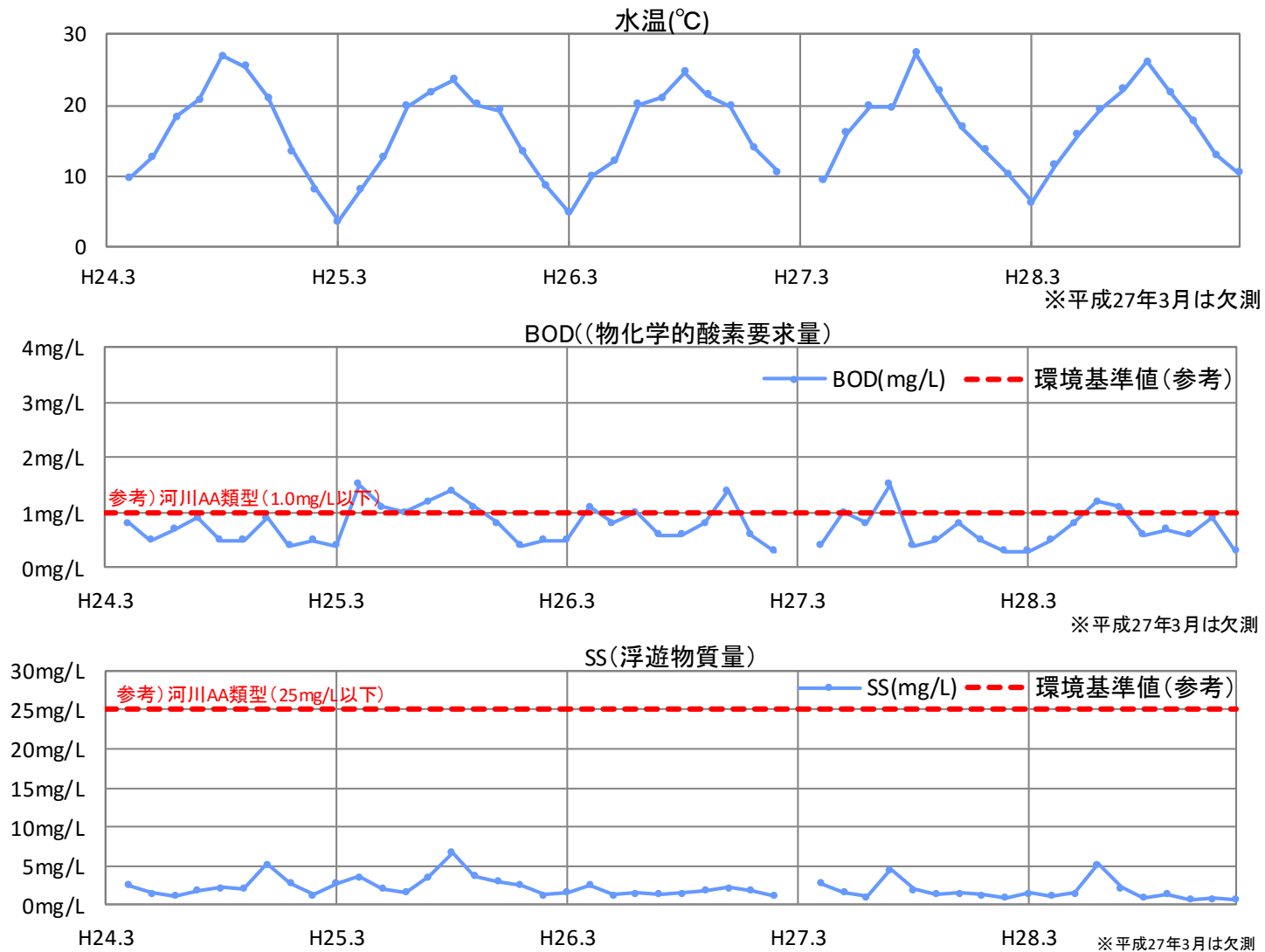
BODが基準値を超えている部分については、降雨による濁り水の流入により一時的に高い値になっていると考えられ、通年でみると特段の問題はない。



## 真名川ダム

真名川ダムは環境基準の指定がなされていないため、九頭竜ダムと同じ環境基準のAA類型で評価した。  
真名川ダムの水質は九頭竜ダムと同様に比較的安定しており、SSは通年、AA類型の基準値を満足しているが、BODは一部でAA類型の基準値を超えている状況であった。

BODがAA類型の基準値を超えるのは、九頭竜ダムと同様に濁り水の流入による一時的なものとする。



# 真名川ダム弾力的管理(試行)

真名川ダム弾力的管理として、洪水調節容量の一部に貯留した容量を活用して、ダム下流の河川環境の保全・改善を目指して放流試験を平成15年度より実施している。

## ◆これまでの実施状況と今後の予定◆

	実施時期	実施日	ダム放流量のピーク流量	置土			自然再生試験
				置土量	材料	場所	
試験	夏期	H15.9.30	25m <sup>3</sup> /s	—			—
	秋期	H16.11.15	45m <sup>3</sup> /s	約220m <sup>3</sup>	貯水池上流の堆積土	八千代橋上流 約0.5km(左岸)	—
	夏期	H17.8.2	25m <sup>3</sup> /s	—			—
	冬期	H17.12.8	40m <sup>3</sup> /s	約200m <sup>3</sup>	河川敷の掘削土	君ヶ代橋上流 約0.6km(左岸)	—
	秋期	H18.11.15	45m <sup>3</sup> /s	約200m <sup>3</sup>	貯水池上流の堆積土	君ヶ代橋上流 約0.8km(左岸)	—
	秋期	H19.11.8	45m <sup>3</sup> /s	約330m <sup>3</sup> +約 650m <sup>3</sup>	貯水池上流の堆積土 +河川敷の掘削土	君ヶ代橋上流 約1km(左岸)	新水路の創出
	秋期	H20.11.18	45m <sup>3</sup> /s	約100m <sup>3</sup>	河川敷の掘削土	君ヶ代橋上流 約1km(左岸)	旧河道の再生
	春期	H22.4.14	70m <sup>3</sup> /s	約140m <sup>3</sup>	河川敷の掘削土	八千代橋上流 約1.5km(左岸)	ワンド(緩流域)の 創造
	融雪期	H23.4下旬~ H23.5	136m <sup>3</sup> /s	約280m <sup>3</sup>	貯水池上流の堆積土	置土ステーション (八千代橋上流)	エコトーンの 創造
	夏期	H23.9.21	365m <sup>3</sup> /s(自然出水)	—			—
	融雪期	H24.4	50m <sup>3</sup> /sにカットして 放流	約360m <sup>3</sup>	貯水池上流の堆積土	置土ステーション (八千代橋上流)	水際のほぐし
	夏期	H24.9.18	230m <sup>3</sup> /s(自然出水)	—			—
	融雪期	H25.4	最大約30m <sup>3</sup> /s放流 (融雪出水)	約320m <sup>3</sup>	貯水池上流の堆積土	置土ステーション (八千代橋上流)	水際のほぐし
	夏期	H25.7.30	213m <sup>3</sup> /s(自然出水)	—			—
	夏期	H25.9.16	320m <sup>3</sup> /s(自然出水)	—			—
本格運用	融雪期	H26.3下旬~ H26.4月上旬	132m <sup>3</sup> /s	—			—
	夏期	H26.8.10	407m <sup>3</sup> /s(自然出水)	—			—
	融雪期	H27.4.5	198m <sup>3</sup> /s(弾力放流)	—			—
本格運用	融雪期	弾力放流				2	

↓ 本格運用へ移行

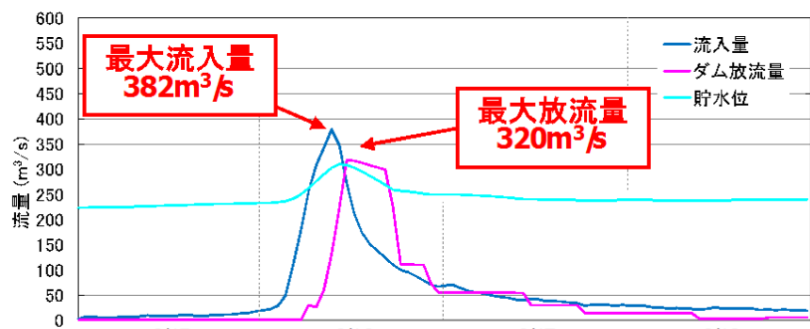
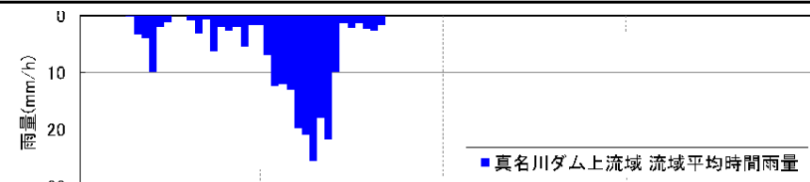
平成  
27  
年度

平成  
28  
年度

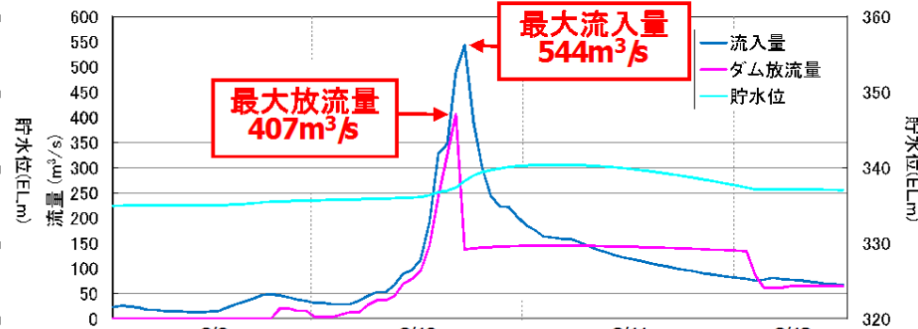
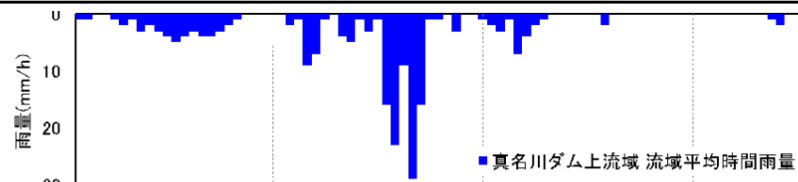
# 平成27年度の実施結果

## 【近年の自然出水の状況】

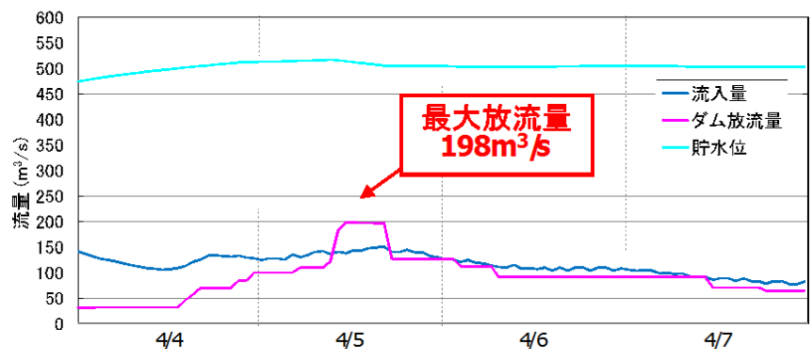
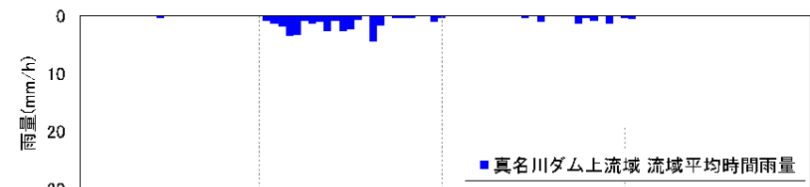
- ・平成26年に既往第2位、平成25年に既往第5位の放流量(いずれも台風による)を記録した。
- ・平成27年4月には、目標流量200m<sup>3</sup>/sを6時間放流する、弾力放流を実施。



平成25年 台風18号による出水



平成26年 台風11号による出水



平成27年4月 弾力放流

## ダム放流量のピーク流量順位 (真名川ダム完成以降)

順位	発生年月日	ダム放流量(m <sup>3</sup> /s)	流入量(m <sup>3</sup> /s)	備考
1	H1.9.7	464	404 (536※)	秋雨前線
2	H26.8.10	407	544	台風11号
3	H23.9.21	365	428	台風15号
4	H10.9.22	344	469	台風7号
5	H25.9.16	320	379	台風18号

## 弾力放流による地形の変化(平成27年4月 2.4k砂州)

弾力放流前 (H27.3.30撮影) 撮影時のダム放流量:  $0.67\text{m}^3/\text{s}$



弾力放流中 (H27.4.5撮影) 撮影時のダム放流量: 約 $198\text{m}^3/\text{s}$  ダム放流量ピーク流量: 約 $198\text{m}^3/\text{s}$



弾力放流後 (H27.4.30撮影) 撮影時のダム放流量: 約 $23\text{m}^3/\text{s}$  地形変化している(河道の攪乱)



### ◆評価・課題等◆

これまでの弾力的管理(試行)により、自然裸地の形成や付着藻類の改善などの効果が確認できた。  
平成29年度は、ダム下流の河川環境の保全・改善を目指して、本格運用に向けた関係機関との調整と手続きを進めていく。



# 九頭竜ダム湖の外来生物対策

## 【コクチバス対策】

■平成19年度の魚類調査において、九頭竜ダム湖内で特定外来種のコクチバス2個体を確認した。コクチバスを放置すると、ダム湖の在来魚種等に大きな影響を与える恐れがあるため、平成21年度より調査を実施している。

■今回の活動は福井県内水面総合センターが実施している特定外来魚の一斉駆除活動で、下記団体からも参加し総勢延べ57名で行った。

参加団体)奥越漁業協同組合、大野市漁業協同組合、ドラゴンリバー交流会、福井県自然環境課、自然保護センター、水産課、海浜自然センター、内水面漁業協同組合連合会、電源開発(株)、(株)JPハイテック、奥越前まんまるサイト、大野市が協働、事務所から職員7名参加

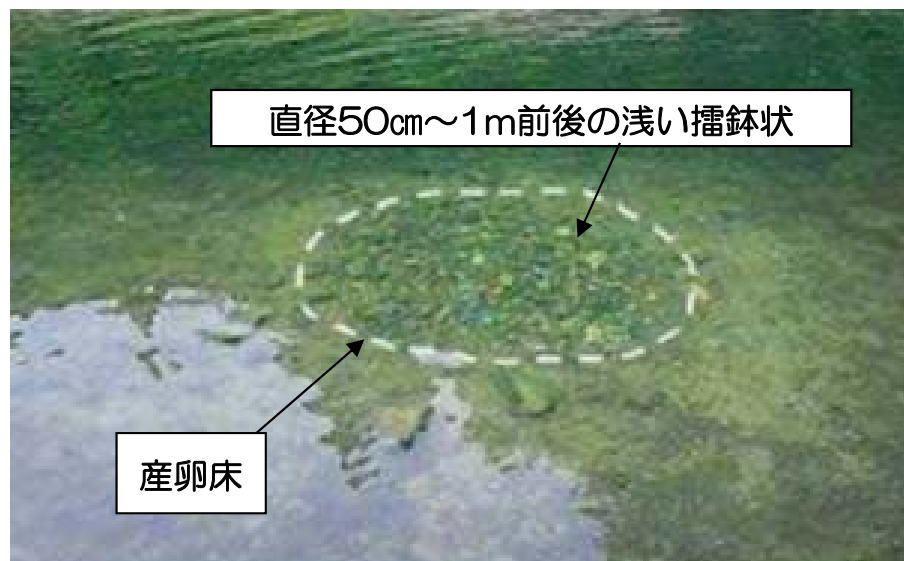
開催日時:平成28年6月2日(木)~3日(金)  
実施場所:福井県大野市長野(九頭竜ダム湖)  
駆除方法:刺し網、竿釣り、産卵床の破壊



■湖を泳ぐコクチバス



■刺し網



■駆除対象魚の産卵床

## ◆評価・課題等◆

刺し網や竿で釣り上げたりして、初日で21匹、翌日は46匹、2日間で67匹のコクチバスを捕獲した。また、産卵時期であったことから、コクチバスが石を集めて作る産卵床の破壊も行った。

今後もダム湖の自然環境保全の取り組みを継続したいと考える。

# 水源地域活性化のための活動



「水源地域ビジョン」の活動概要を以下に示す

分類	活動名	主な活動内容
環境 保全	九頭龍川クリーンアップ大作戦	真名川グラウンド等で清掃活動を実施
	越前おおの湧水文化再生計画	湧水文化を後世へ引き継ぐことを目標に、水田湛水や地下水計測・啓発等を実施
	水への恩返し(Carrying Water Project)	「水への感謝の思い」を「水への恩返し」という行動で表す。 「水」を基幹とする新たな産業創出や人材育成、東ティモールへの支援等を実施
	大野市森・水保全条例	水源地域内の土地の所有権移転等に関する条例
	越前おおのエコフィールド	ドングリなどの苗木を育てる森林づくり活動や、自然環境教育、自然体験などを実施

分類	活動名	主な活動内容
交流	平成28年度「日帰り留学」	子供たち(親子)の短期留学による交流
	カヌーを使った水辺の安全教室	プールやダム湖でカヌーを使った水辺の安全教室や、カヌー出前講座を実施
	化石発掘体験	恐竜やアンモナイトなどの化石発掘体験を開催
	大野市とモンベルの協定締結	地方創生に向けた相互連携・協力に関する協定を締結
	真名川河川敷サイクリングコース整備	「大野市自転車を活用したまちづくり計画」に基づき、サイクリングコース等を整備
	<森と湖に親しむ旬間行事> もりみずカップ少年サッカー大会	流域の子供たちによるサッカー大会
	NPO法人九頭竜自然楽校	九頭竜新緑まつり・紅葉まつりで木工アート教室を開催
	ノーム自然環境教育事務所	九頭竜新緑まつりでのカヌー体験等を実施
啓発活動	<森と湖に親しむ旬間行事> 真名川ダム・九頭竜ダム等の見学会	ダムの見学会 参加している各機関による啓発活動
	九頭竜新緑まつり・紅葉まつりでのパネル展示 防災パネル展	防災等に関するパネル展示 流木等の配布
	流木の有効活用	流木や流木から作った堆肥の配布
	九頭竜ダム展示室	防災等の啓発やダムの役割の広報
	ダムカードの配布	ダムカードの配布
	ダム湖周辺の紅葉情報提供	HP、ツイッターによる紅葉情報の提供
	真名川ダム・九頭竜ダム水源地域ビジョンHP更新	HPの更新



# 1. 森と湖に親しむ旬間行事



## 概要

国民のみなさんが森と湖に親しみ心身をリフレッシュしながら、森林やダム湖の重要性について理解を深めていただくことを目的に、真名川ダムや九頭竜ダム・長野地下発電所の見学会を実施した。

- 【実施内容】 真名川ダム見学会（平成28年7月30日(土)）  
九頭竜ダム・長野地下発電所見学会（平成28年7月31日(日)）
- 【主催】 森と湖に親しむ旬間行事運営連絡会
- 【構成機関】 福井森林管理署／福井県／大野市／電源開発(株)／北陸電力(株)／関西電力(株)／大野市漁業協同組合／福井河川国道事務所／九頭竜川ダム統合管理事務所
- 【関連・協賛行事】 第9回もりみずカップ少年サッカー大会（平成28年6月18日(土)、19日(日)）
- 【事前PR】 県内を対象に新聞広告、公式ツイッター、チラシ等で事前PRを実施




■テレビニュース報道 NHK:平成28年7月30日（土）

国土交通省 九頭竜川ダム統合管理事務所 @milit\_jokuzuryu - 7月5日

【森と湖に親しむ旬間PR（九頭竜ダム その1）】  
今年の九頭竜会場は7月31日に開催します。好評の水上巡視体験は、便数を昨年の14便から21便と大幅に増やします。詳細は九頭竜川ダム統管HP新着情報を参照 #もりみず2016

国土交通省 九頭竜川ダム統合管理事務所 @milit\_jokuzuryu - 7月5日

【九頭竜ダム・真名川ダム】ダム見学会の開催  
今年も森と湖に親しむ旬間行事として、7月30日(土)に真名川ダム、31日(日)に九頭竜ダムで見学会を開催します。開催時間帯は両日とも10時～16時です。詳細はHP新着情報を参照してください。 #もりみず2016



■地域情報誌 「スマイルママ」7・8月号に掲載

真名川ダム・九頭竜ダム見学会（森と湖に親しむ旬間）

○真名川ダム 日時 7月30日 午前10時～午後4時 場所 真名川ダム管理支所 参加料 無料	○九頭竜ダム 日時 7月31日 午前10時～午後4時 場所 九頭竜ダム管理支所 参加料 無料
---	---

問い合わせ先 九頭竜川ダム統合管理事務所 (☎66-6300)



# 真名川ダム見学会

真名川ダム見学会では、アーチ式ダムの迫力を体感いただくとともに、ダム内部の見学も実施した。また、紙飛行機飛ばしや流木プレゼントもあり、来場者は約400人と盛況であった。

【開催日】平成28年7月30日(土) 【来場者】約400人

【参加機関】福井森林管理署 / 福井県 / 北陸電力(株) / ダムマイスター / 福井河川国道事務所・九頭竜川ダム統合管理事務所



■ダムの大さを体感



■アーチ式ダムを体感



■管理用通路見学



■紙飛行機飛ばし（水溶紙）



■流木・堆肥のプレゼント



■スマートボールゲーム



## 真名川ダム見学会



■パネル展示（福井森林管理署）  
国有林の森林保全の取り組み



■パネル展示（福井県）  
県が管理するダムや森林の保全



■パネル展示（北陸電力）  
環境保全活動



■パネル展示  
（福井河川国道事務所/  
九頭竜川ダム統合管理事務所）

## 笹生川ダム見学会

ダム見学会では、ダムやゲートなどの見学、説明を行った。

【開催日】平成28年7月30日（土） 【来場者】約70人

【開催ダム】笹生川ダム（大野市）



■笹生川ダム見学会の様子





# 九頭竜ダム見学会・長野発電所見学会

九頭竜ダム見学会・長野発電所見学会では、ダム堤体上より、高さ128mの九頭竜ダムのスケールを体感してもらった。その他、ダムの構造・機能をよく理解していただけるよう、洪水吐ゲート等の説明を実施した。

【開催日】平成28年7月31日(日)

【来場者】九頭竜ダム会場 約700名／長野発電所 約530名

【参加機関】大野市/電源開発(株)/北陸電力(株)/関西電力(株)/九頭竜川ダム統合管理事務所 ほか

## ■九頭竜ダム会場



■ダム湖の様子



■冬期連絡通路



■冬期連絡通路



■お絵かきコーナー

## ■長野発電所会場



■長野発電所会場



■地下発電所見学-1



■地下発電所見学-2



■模型実験の実演の様子



## 九頭竜ダム見学会・長野発電所見学会

- ・大野市により、湧水文化再生に関する取り組み及び越前美濃街道沿線自治体の観光紹介を行った。
- ・この他、ダム湖に流れついた様々な形の流木を無料配布し、また地元業者さんの協力による流木を利用した工作教室も好評であった。
- ・なお、水上巡視体験は、ダム湖水位の低下により今回は中止となった。



■パネル展示（大野市観光振興課）



■パネル展示（九頭竜川ダム統合管理事務所）



■九頭竜湖の流木無料配布



■地元業者さんの協力による  
流木を利用した工作教室

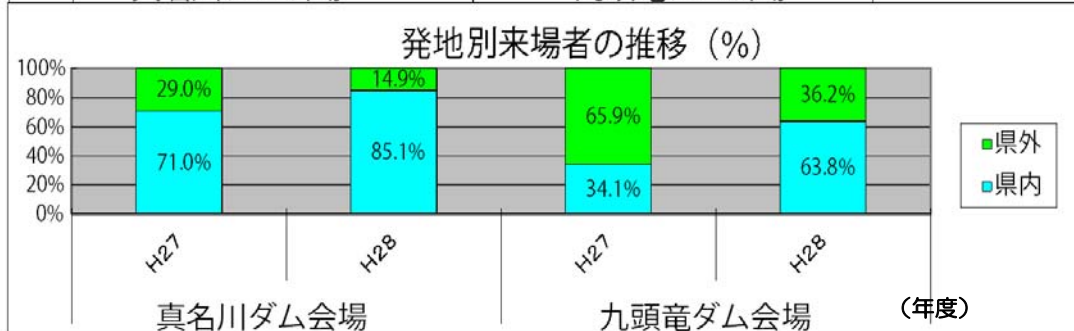
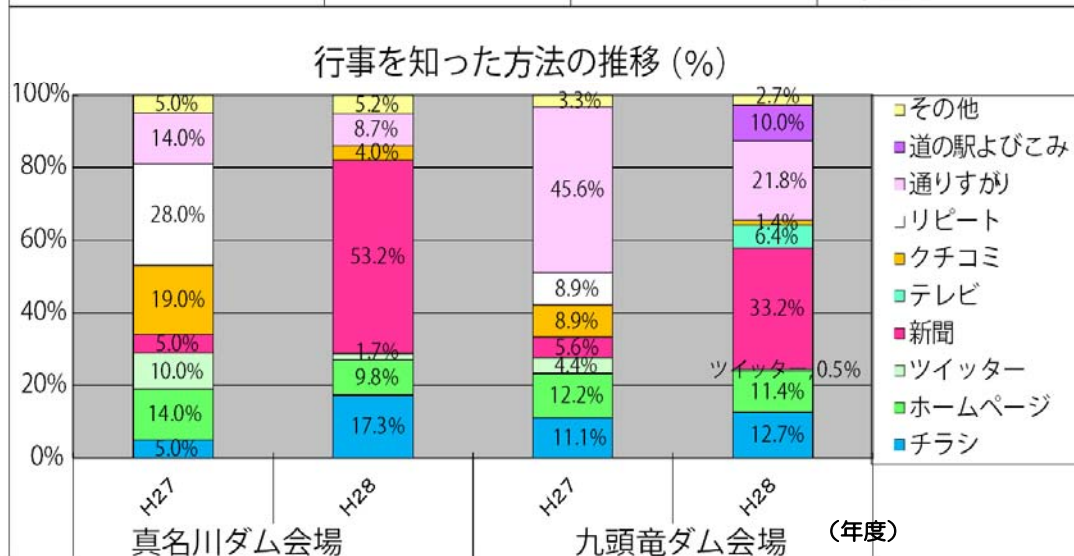
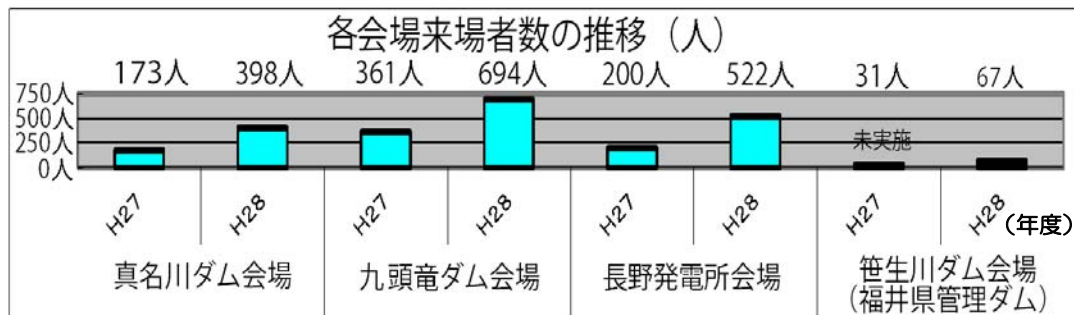


■九頭竜ダム見学会記念撮影パネル



# アンケート結果

## 「森と湖に親しむ旬間」行事来場者の動向 旬間中に各見学会会場でアンケートを実施



### ■アンケート結果

#### ●真名川ダム会場・笹生川ダム会場(福井県管理ダム)

来場者数は昨年に比べ、真名川ダム会場で2.3倍、笹生川ダム会場で2.2倍となった。

「初めてダムの中を見学することが出来て良かった。感激した。」、「ダムは涼しくて気持ち良かった。」など、ひんやりした堤体内通路や噴水など、夏のイベントとして喜ばれている声が多数あった。

#### ●九頭竜ダム会場・長野発電所会場

来場者数は昨年に比べ、九頭竜ダム会場で約1.9倍、長野発電所で約2.6倍となった。

九頭竜ダムは県境の主要道沿いにあるため、昨年度は「通りすがり」での来場者が最も多かったが、今年度は新聞広告をみて来場された方の比率が最も高かった。

「ダムについて、よくわかりました。子ども達も楽しく過ごせたと思います。」などの意見があり、広く一般の方にダムを知っていただく効果をあげていることが確認できる。

### ◆評価・課題等◆

今年度は行事開催に先立ち、新聞広告や周辺道の駅でのチラシ配布、公式ホームページ等での掲載を行った。

その結果、県内・外から多くの来場者を迎えることが出来、行事全体で昨年を大きく上回る約1,700人の見学者を迎えることができた。

今後は、イベント内容のマンネリ化、運営費用の制約、運営人員の不足などの課題を解消しながら、より多くの方に森林やダム、河川等の重要性について関心を高め、理解を深めていただく取り組みを継続したいと考える。

# 「森と湖に親しむ旬間」協賛行事

## 【協賛行事】もりみずカップ少年サッカー大会

九頭竜川ダム統合管理事務所では、真名川ダム・九頭竜ダム水源地域ビジョン推進委員会を通じて、多様な活動主体と協働して水源地域の活性化に取り組んでいる。

「森と湖に親しむ旬間」の協賛行事として、九頭竜川の水源地から下流まで16チームの子ども達が参加する「もりみずカップ少年サッカー大会」が開催された。

【開催日】 平成28年6月18日(土)・19日(日)

【主催】 もりみずカップ実行委員会/  
フェンテ大野フットボールクラブ

【会場】 奥越ふれあい公園陸上競技場

【協賛】 九頭竜川ダム統合管理事務所/大野市

【後援】 福井新聞社/越前おおの農林楽舎



■事務所長の祝辞



■試合の様相

## ◆評価・課題等◆

この少年サッカー大会は、平成20年に「森と湖に親しむ旬間」全国行事が大野市で開催された事を記念して始ったもので、今年度で第8回大会となる。

参加チーム数は昨年度より1チーム増え16チームが参加しており、そのうちの2チームは岐阜県郡上市からの参加である。

九頭竜川の水源地から下流まで九頭竜川のもたらず豊かな自然を愛する心・感謝する心を育てながら参加チーム相互の親善を深める大会となっている。

参加チームが増えながら継続的に実施できており、上下流域チームの参加により地域間の交流に広がりを見せている。



## 2. 平成28年度 「日帰り留学」

### 活動概要

日帰り留学は、福井豪雨から10年の節目となる平成26年より「水源地域ビジョン」の取り組みの一環として実施している。

上下流地域の子ども達(親子)に短期留学をしてもらい、山林・里山・田園地域での自然体験等を通して上下流地域間の交流と連携の強化、防災意識の向上を目的とした行事である。

ネイチャーゲームでゲーム感覚で自然とふれあったり、川の健康診断で水の大切さ等を学んだり、「ミズ水クイズ」で災害のことやダム的重要性を学んでもらった。



【開催日】平成28年8月20日(土)

【会場】麻那姫湖青少年旅行村(中島公園)

【申し込み人数】約30名

【参加団体】大野市漁業協同組合/九頭竜川ダム統管理事務所

### ■日帰り留学の案内チラシ



《ネイチャーゲーム》

自然の中に隠れた色々なものを五感で感じ自然と触れ合いました。



《川の健康診断》

川の生物を採取して、川の水がきれいかを調べました。



《ミズ水クイズ》

パネルをヒントにクイズ形式で、災害、防災・ダムの役割などについて学びました。

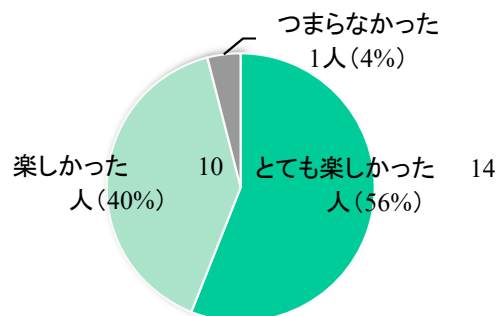


# アンケート結果

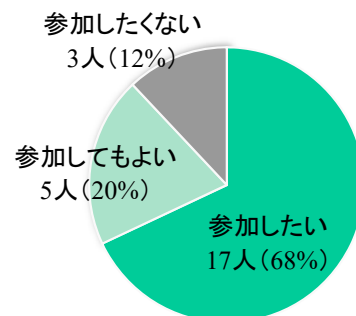
## 日帰り留学参加者へのアンケート結果

	子ども	保護者	合計
当日参加者数	18名	9名	27名
アンケート回答数	16名	9名	25名

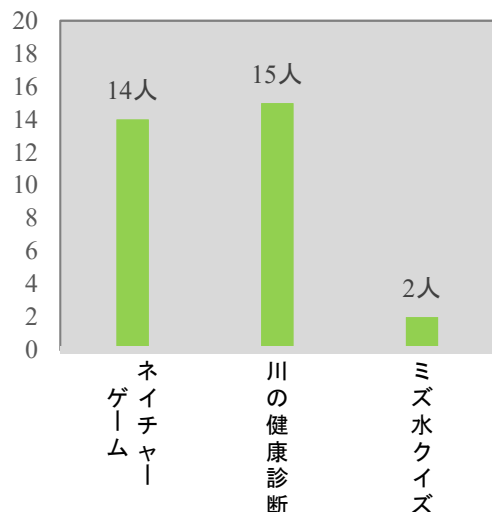
### 日帰り留学に参加してみてもうでしたか？



### このような機会があれば参加したいですか？



### とても楽しかった または楽しかった人は次のどれがよかったですか？



### 他にやってみたい自然体験があれば記入ください(複数回答あり)

1位	川遊び(自由行動)	5人
2位	キャンプ	4人
	魚のつかみどり・魚釣り	4人
4位	虫とり	2人
5位	絆が深まるような遊び	1人
	ちょっとだけ山に行く	1人
	自然のおめん	1人
	スモックラインのような木を使った運動	1人
	ハンモック体験	1人

## ■参加してみて良かったこと、学んだことなど

- ・すべてがたのしかったし、ありがとうございました。
- ・きょうはいろいろなかたと協力したりできたり、しぜんとふれあえてよかったです。
- ・もう少し、夏休みの早い時期だと、自由研究にも役立つし、工作のアイデアにもなるし、ありがたいなあーと思いました。
- ・去年は魚のつかみどりがあったとのことでしたが、今年は予算の都合もあり中止になったと思いますが来年は出来ればやって欲しいです。
- ・子供と一緒に自然の中で遊べて良かったです。川に知らない虫が沢山いることにおどろきました。ハチがいて恐かったです。じっとしていればいいことを教えていただけ良かったです。とても暑かったです。真夏に一日中外で遊ぶことはないのよ経験でした。

## ◆評価・課題等◆

今年度は、上下流地域から約30人の子ども達(親子)の参加があり、自然体験等を通して交流いただき、連携強化の促進ならびに人材育成の貴重な場となったと考える。

開催時期が8月中旬となったことから、夏休みの自由研究に活かさないとの意見があったことから、来年度以降は開始時期にも配慮して継続したい。

# 3. 九頭竜新緑まつり・紅葉まつりでのパネル展示



## 九頭竜新緑まつり・紅葉まつりの概要

大野市内で生産される農林水産物や特産品、旬の味覚などを提供する「食の市場」と体験型・参加型のイベントを実施することにより、文化・工芸の継承を促し、交流人口の増加と地域の活性化を図る事を目的に、毎年、春に新緑まつり、秋に紅葉まつりを開催している。

【主催】大野市/九頭竜まつり実行委員会  
【共催】(一社)大野市観光協会/福井新聞社  
【後援】(公社)福井県観光連盟/  
JR西日本福井地域鉄道部/  
NHK福井放送局/FBC福井放送/  
福井テレビ/FM福井  
【会場】九頭竜国民休養地(大野市角野)

### ■第30回九頭竜新緑まつり

【日時】平成28年5月14日(土)・15日(日)  
【内容】新緑ステージ、新緑市場(特産品の販売)、  
カヌー体験教室、饅頭まき、化石発掘体験、  
ふるまい大鍋など  
【入込み人数】約26,500人



■カヌー体験



■ふるまい大鍋

### ■第37回九頭竜紅葉まつり

【日時】平成28年10月29日(土)・30日(日)  
【内容】紅葉ステージ、紅葉市場(飲食広場、  
特産品の販売、トロッコ列車乗車体験、  
つり堀、木工工作コーナーなど  
【入込み人数】約61,000人



■紅葉ステージ



■紅葉市場



## 新緑まつり・紅葉まつりでの九頭竜川ダム統合管理事務所の取り組み

九頭竜ダム・真名川ダムの概要をはじめ、九頭竜ダム湖環境保全の取り組みや福井県内で実施されてきた公共事業によるストック効果などの紹介、伊勢湾台風(昭和34年9月)や奥越豪雨(昭和40年9月)による当時の福井市・大野市内の被害状況の紹介などを行った。

また、九頭竜ダムで発生した流木の無料配布を行った。



■パネル内容の説明



■流木の無料配布

新緑まつり



■パネル内容の閲覧・説明



■流木の無料配布

紅葉まつり

### ◆評価・課題等◆

展示パネルの説明に興味深く真剣に聞き入る方が多く、近年頻発している風水害への関心が益々高まっていると感じられ、ダムの役割や必要性を再認識して頂くとともに、防災・減災への意識の向上を図ることができた。

# 4. 防災パネル展

## 概要

真名川ダム建設の契機となった奥越豪雨(昭和40年9月)から50年の節目となった平成27年より、水源地域ビジョンの取り組みの一環として実施している。

大野市及び福井市において「防災パネル展」を開催した。このパネル展は、大きな被害をもたらす台風や地震などへの防災・減災への意識向上を目的として実施した。

奥越豪雨による旧西谷村の災害などの貴重な過去の災害記録、国土交通省の近年の災害対応状況、ダムの役割などの紹介を行った。



■福井市会場(エルパ:福井市大和田)  
平成28年11月24日～11月29日



■大野市会場(ヴィオ:大野市鋤掛)  
平成28年10月25日～10月30日



### ◆評価・課題等◆

過去の災害記憶を思い返す方や、近年頻発している風水害や地震災害への関心の高まりからか、幅広い年齢層の方に足を止めて熱心にご覧いただいた。

過去の災害を風化させないとともに、いつ起こるかわからない災害に備えてもらうため、継続して実施したい。



# 5. ダム湖周辺の紅葉情報提供

## 概要

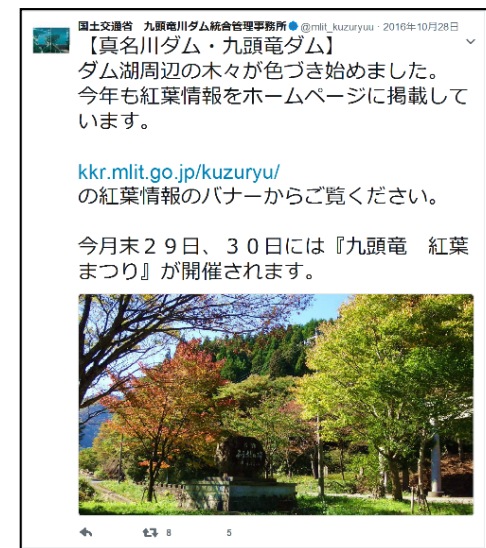
真名川ダム(麻那姫湖)、九頭竜ダム(九頭竜湖)周辺の紅葉の状況を、ダム管理支所職員がダム湖等を巡視した際に写真を撮り、『紅葉情報』として毎週ホームページ及びツイッターに掲載し、ダム湖周辺への紅葉見物を予定している観光客に情報提供するもので、昨年を引き続いて実施した。

紅葉の時期には、大野市公式HPからもリンクされていた。

【期間】平成27年10月11日(月)～11月21日(月)

【URL】九頭竜川ダム統合管理事務所

<http://www.kkr.mlit.go.jp/kuzuryu>



■ツイッターでの情報提供

## 真名川ダム(麻那姫湖)周辺



調査地点	調査日						
	10月11日	10月17日	10月24日	10月31日	11月07日	11月14日	11月21日
真名川ダム周辺	青葉	一部紅葉	見頃	見頃	見頃	見頃	見頃
麻那姫湖中流部(若生子大橋)	青葉	一部紅葉	見頃	見頃	見頃	見頃	見頃
麻那姫湖上流部	青葉	一部紅葉	見頃	見頃	見頃	見頃	見頃
中島公園周辺	青葉	一部紅葉	見頃	見頃	見頃	見頃	見頃
雲川・笹生川	青葉	一部紅葉	見頃	見頃	見頃	見頃	見頃

色の説明	
青葉	一部紅葉
見頃	一部落葉
全落葉	



■真名川ダム周辺(下流部)



■雲川(国管理区間上流端)



■真名川ダム周辺の調査地点

# 九頭竜ダム(九頭竜湖)周辺

## 今週のおすすめ

九頭竜湖周辺で見かけた、おすすめの写真を紹介。今週は紅葉の九頭竜湖と箱ヶ瀬橋を遠景で撮影しました。お天気が良くお日様が強すぎて、白っぽく写ってしまいました。実際はもっと暖かく鮮やかな色合いですよ。この撮影場所は道が狭く車が人のすぐ近くを通ります。くれぐれも気をつけて散策して下さい。



■九頭竜ダム周辺の調査地点

調査地点	調査日						
	10月11日	10月18日	10月24日	10月31日	11月07日	11月14日	11月21日
九頭竜ダム周辺	青葉	一部紅葉	見頃	見頃	見頃	一部紅葉	一部紅葉
九頭竜湖中流部	青葉	一部紅葉	見頃	見頃	見頃	一部紅葉	一部紅葉
箱ヶ瀬橋付近	青葉	一部紅葉	見頃	見頃	見頃	一部紅葉	一部紅葉
九頭竜湖上流部	青葉	一部紅葉	見頃	見頃	見頃	一部紅葉	一部紅葉

色	色の説明
青	青葉
橙	一部紅葉
赤	見頃
黄	一部落葉
白	全落葉



■ダム下流側  
(ダム下流側国道沿い展望台より撮影)



■管理支所周辺  
(管理支玄関より周辺(ダム右岸側)を撮影)



■箱ヶ瀬橋下流  
(箱ヶ瀬橋上から下流側を撮影)

## ◆評価・課題等◆

現地に行かないとわからない紅葉情報を提供することで、紅葉狩りを楽しんでもらうとともにダムに関心をもってもらうきっかけとなることが期待できる。ツイッターでは紅葉情報のほか、その時々話題を提供しており、今後も継続的な情報発信を行っていききたい。



# 6. 九頭竜ダム展示室

## 概要

平成19年4月より、ダムの役割や状況など、ダムに関する展示を行っている。

【場 所】 九頭竜ダム管理支所 1F

【開館時間】 9:30～16:30(平日・休日を問わず開館)

### 【展示内容】

- ダムコーナー: 九頭竜ダム貯水池の航空写真と九頭竜湖についてのパネルを展示
- 災害情報: 福井豪雨などでの被害状況の写真等を展示
- ビデオ上映: 九頭竜ダムを建設した様子についてのビデオ(約25分)を上映



■ダムコーナー



■災害情報コーナー



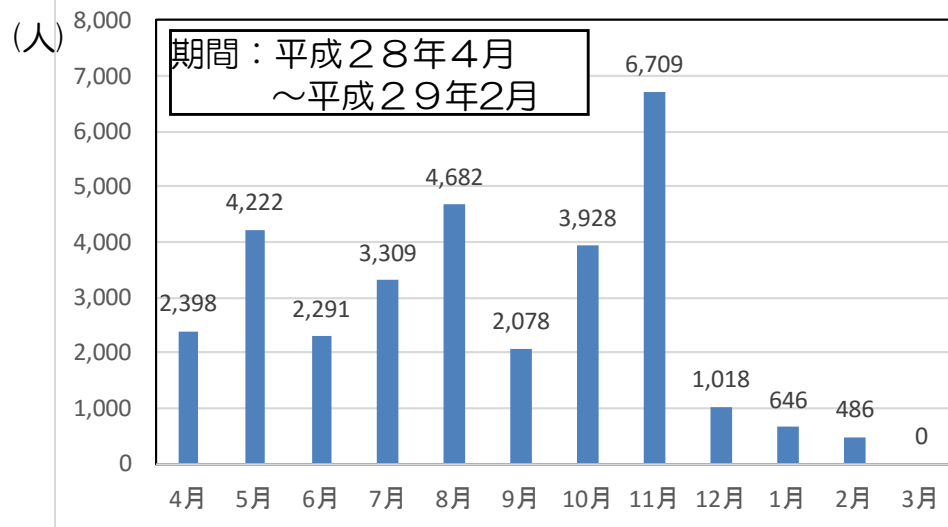
■ビデオ上映

### 【九頭竜ダム展示室 入場者数(平成28年度)】

■集計期間: 平成28年4月～29年2月

■入場者数: 延べ31,767人

■月平均: 約2,888人 ■日平均: 約95人



### ◆評価・課題等◆

昨年度の月平均入場者数は約2445人であり、今年度の入場者は月あたりで約400人増えている。

年間の入場者数の推移をみると、ゴールデンウィークがある5月、夏休み中の8月、紅葉シーズンの10～11月に入場者数が多くなっており、冬季の入場者数は少ない。

平成19年の開館より多くの人に来場いただいておりますが、ダムのPRに役立っていると考えられるが、展示内容に大きな変化がないことから、最新の技術を活用したりリニューアルが望まれる。

# 7. ダムカードの配布

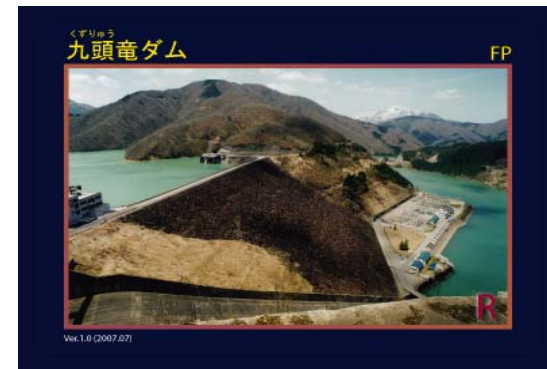
## ダムカードの配布

ダムのことをより知っていただくため、全国の国土交通省や水資源機構などが管理しているダムで、統一規格のカードを配布している。

- 平成19年度の「森と湖に親しむ旬間」より、全国111のダムで配布開始
- ダムや周辺施設のみで配布
- 全国統一規格で基本的な情報からマニアックな情報まで掲載



真名川ダム



九頭竜ダム

### ■真名川ダム・九頭竜ダムでの配布状況

	真名川ダム	九頭竜ダム
配布場所	真名川ダム管理支所	九頭竜ダム管理支所
配布時間	9:00～17:00(土・日・祝日含む)	9:00～17:00(土・日・祝日含む)
累計配布枚数 (平成19～27年度)	62,489枚	78,895枚

### ◆評価・課題等◆

当初111のダムで始まったダムカードは、平成28年10月時点で555のダムに広まっている。

近畿地方整備局管内の直轄ダム・堰におけるダムカードの配布数は、九頭竜ダムが第1位、真名川ダムが第2位であり、人気が高いことがうかがえる。(第3位は鳴鹿大堰で15,283枚)

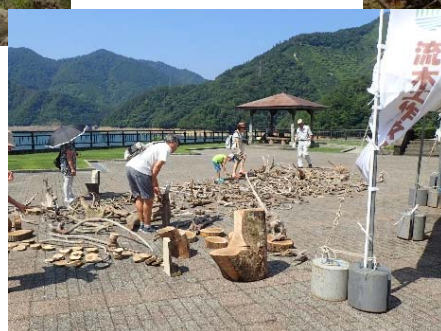


# 8. 流木の有効活用

## 概要

ゲート操作などの支障とならないようにダム湖に流れ込んできた流木を回収し、森と湖に親しむ旬間、九頭竜新緑・紅葉まつりなどにおいて、一般の方へ流木や流木から作った堆肥等を配布している。

堆肥の活用：「越前おおのエコフィールド」森林(もり)づくり活動に提供  
 チップの活用：防草用のマルチング材等として使用を予定



■ 堆肥の配布（真名川ダム見学会）

■ 流木配布(新緑まつり、紅葉まつり、真名川ダム見学会、九頭竜ダム見学会)

### ◆評価・課題等◆

森と湖に親しむ旬間、九頭竜新緑・紅葉まつりなどにおける、本来廃棄されている流木や流木からつくった堆肥の配布は好評であり、流木の有効利用として今後も継続したいと考えている。

# 9. 真名川ダム・九頭竜ダム水源地域ビジョンHP更新状況

## 【概要】

住民や各関係者等に広く水源ビジョンを認知してもらうため、ホームページ等による水源地域情報の発信、関係機関ホームページとの相互協力による情報提供の充実を進めている。 ※1.更新日はH29.3.10時点で確認

■ホームページ	■更新日	■リンク先(委員会メンバー)
真名川ダム・九頭竜川ダム水源地域ビジョン	H29.2.24	○大野市観光協会
		×奥越漁業協同組合
		×大野市漁業協同組合
		○大野商工会議所
		○大野青年会議所
		○NPOドラゴンリバー交流会
		○北陸電力福井支店
		○電源開発株式会社九頭竜電力所
		×福井市建設部
		○福井県河川課
		○福井県電気課
		○福井県奥越農林総合事務所
		○近畿中国森林管理局福井森林管理署
		○近畿地方整備局河川管理課
		○近畿地方整備局福井河川国道事務所
		○大野市
		○九頭竜川ダム統合管理事務所(地域活動団体等)
		×ビオフレンズ
		○大野の水を考える会
		△越前大野もてなし隊
		×本願清水イトヨの里(大野市HP内)
		○ノーム自然環境教育事務所
		○里山銀杏峰(げなんぼう)を愛する会
		×大野親岳会
		△大野明倫館(大野市役所)
		○平成大野屋
		△観光ボランティアガイド大野(大野市観光協会)
×自然暮らしの会		
×和泉村ファンクラブ		

■委員会構成機関ホームページ	■更新日
大野市観光協会	H29.1.6
九頭竜森林組合	H29.3.10
奥越漁業協同組合(内水面 奥越)	-
大野市漁業協同組合	H29.3.1
大野商工会議所	H29.3.2
大野青年会議所	H29.2.18
OASIS協会	H24.7.9
NPO法人九頭竜自然楽校	H29.2.22
NPOドラゴンリバー交流会	H29.2.21
北陸電力福井支店	H29.3.10
電源開発株式会社九頭竜電力所	-
福井市建設部河川課	H29.2.23
大野市教育委員会	H28.9.16
福井県河川課	H29.3.9
福井県電気課	H27.10.2
奥越土木事務所	H29.3.8
奥越農林総合事務所	H29.3.10
近畿中国森林管理局福井森林管理署	H29.3.8
近畿地方整備局福井河川国道事務所	H29.3.10
大野市	H29.3.10
九頭竜川ダム統合管理事務所	H29.3.10
九頭竜川中部漁業協同組合	H29.3.6
奥越前まんまるサイト(ノーム自然環境教育事務所)	H29.3.7

情報の提供・共有等、利用者の利便のためにも、水源地域ビジョンの情報を掲載し、リンク先を準備することが望まれる。

なお、水源地域ビジョン推進委員会構成機関の大野市区長連合会、真名川土地改良区連合、大野市連合ふわわ女性の会のホームページはまだ準備されていない。

※2.リンク先の( )書きは、ビジョン関連以外でリンク先を掲載しているものを示す。  
リンク先の○は接続できるもの、△は別サイトへの接続、×は接続できないものを示す。



# 10. 越前おおの湧水文化再生計画

## 概要

古くからある湧水の再生や本市特有の湧水文化を後世へ引き継ぐことを目的とし、国・県・市などの関係機関や団体、市民や企業がそれぞれの役割を担いつつ、総合的な取組みを進めるため、平成23年度に「越前おおの湧水文化再生計画」を策定。本計画に基づき各施策に取り組んだ。

## 大野市水循環・湧水文化再生推進連絡協議会

昨年度開催した第9回の協議会「大野市湧水文化再生推進連絡協議会」において、水循環基本法・水循環基本計画に基づき、流域における様々な主体が連携して施策に取り組むため、「大野市水循環・湧水文化再生推進連絡協議会」と改めて、水環境の保全に関し、さらに取り組むことを決定した。

各施策の推進状況の報告や協議などを行い、関係機関や団体の連携強化を図る。

・(第1回)平成28年11月22日開催

参加機関・団体

岐阜経済大学／京都大学／総合地球環境学研究所／筑波大学／大阪府立大学／国土交通省国土技術政策総合研究所／国土交通省近畿地方整備局福井河川国道事務所・九頭竜川ダム統管理事務所／農林水産省北陸農政局／林野庁福井森林管理署／福井県安全環境部環境政策課・農林水産部農林振興課、森づくり課・土木部河川課、奥越農林総合事務所、奥越土木事務所／市区長連合会／市地下水対策審議会／真名川土地改良区連合／北陸電力(株)／JAテラル越前／九頭竜森林組合／大野市

## 水田湛水事業

- 【面積】 29.8ha(H27年 28.8ha)
- 【期間】 平成28年10月1日～  
平成29年2月29日(5か月間)
- 【場所】 木本原地区(阿難祖地頭方 他地係)





# 地下水の水位観測・啓発など

## 【モニタリング】

地下水位観測 29か所32井戸

湧水量観測 中野清水、義景清水 2か所

地下水質検査 6月8日・9日検査 42か所

## 【啓発】

紅葉まつりなどの各種イベントへの出展

市報やチラシによる地下水・節水の啓発

越前おおの名水出前講座の開催

越前おおの環境塾「川の生き物を探そう！」の開催

## 【注意報・警報】

地下水位低下時に地下水注意報・警報を発令

**地下水注意報発令：平成28年12月7日～19日(13日間)**

## 【地下水保全基金】

市民などからの寄附金を積み立て、地下水保全対策に活用

平成27年度貯留施設整備事業・地下水保全活動助成事業に活用



■春日公園観測井表示板



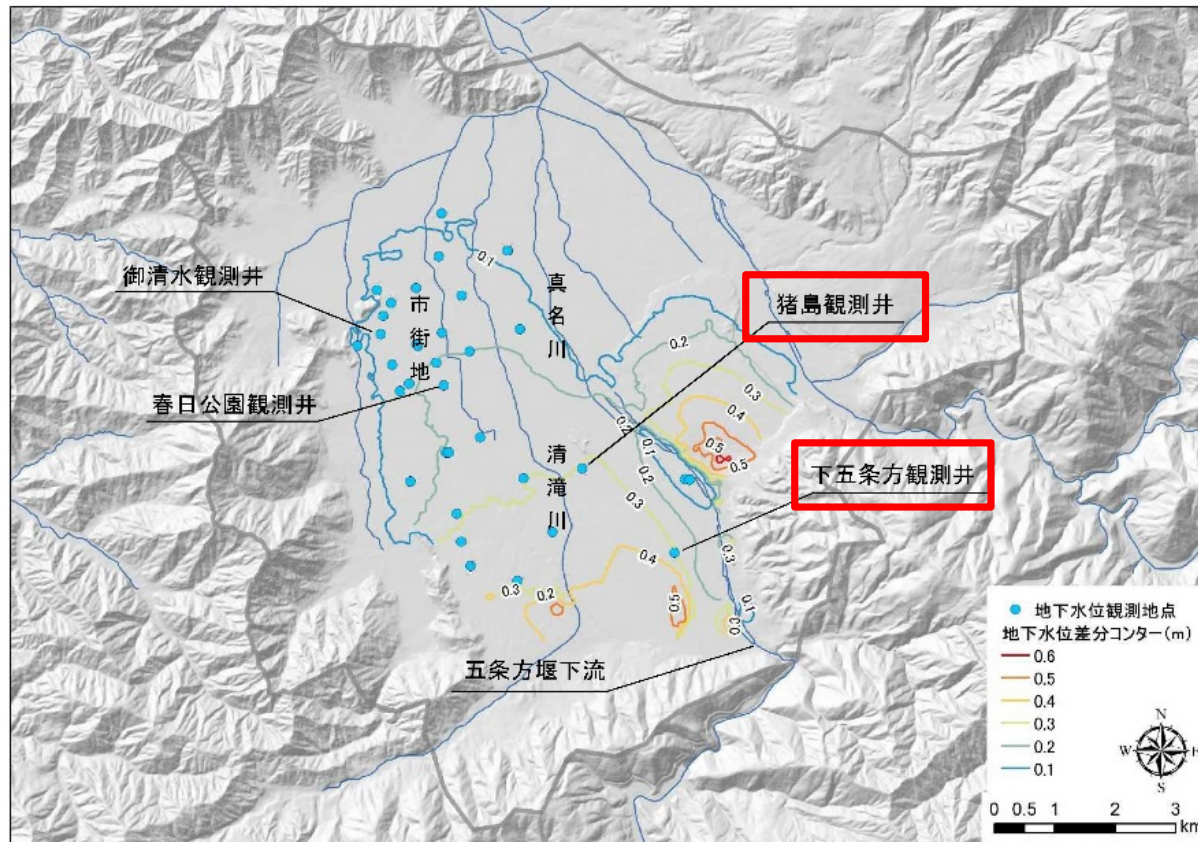
■名水出前講座の風景



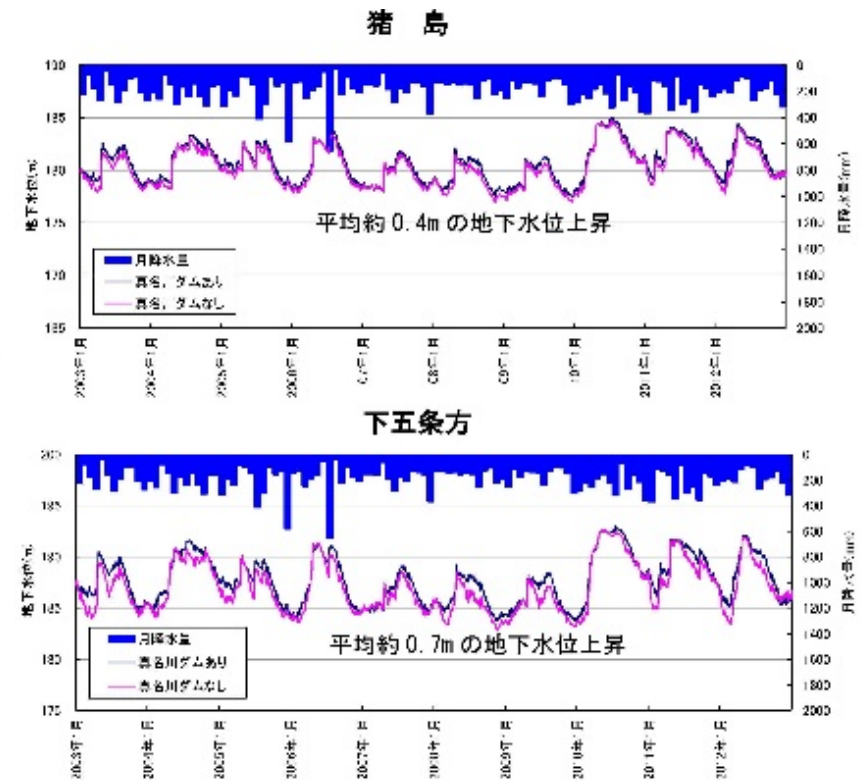
■環境塾の風景（水生生物の採捕）

## 地下水位の状況(真名川ダムによる地下水位への影響評価)

- 国土技術政策総合研究所において、水循環解析モデルに基づく「真名川ダムの流況安定化による水循環への影響評価」が行われた。
- 解析では、真名川ダムが存在する現在は流況が安定しているため、真名川ダムが存在しない場合と比べて地下水位が0.1m~0.7m高くなるという結果が示された。(下五条方観測井0.7m、猪島観測井0.4m、御清水0.1m、春日公園観測井0.2m)



地下水位差分コンター(2012年12月31日)



※出典:国土技術政策総合研究所水循環研究室資料

# 11. 水への恩返し Carrying Water Project

## 概要

水は、大野市にとって、歴史や文化、伝統を連綿と支えてきた貴重な財産です。その水に着目し、「水への感謝の思い」を「水への恩返しCarrying Water Project」という行動として表すことで、市民が地域に「誇りと自信」を持つとともに、新たな産業基盤の創出や人材育成、地域製品の競争力強化を図り、まちの活性化を目指す、中長期的な人口減少対策として取り組む。

## 人口減少対策への流れ



### GOAL

Carrying Water Project によって大野市が目指す長期的ビジョン

① 定住・人口流入

② 産業創出・人材輩出

水に関わる環境産業誘致や施策実現による顧客創出・地域活性

③ 基盤整備

「水」を基幹とする産業創出や活性化施策実現に向けたブランドづくり、人材育成等

④ 市民意識（誇りと自信）醸成

目に見える活動から生まれる市民との対話と意識喚起 / 理解促進

⑤ 具体的な活動 Carrying Water Project

人口減少対策を目的として

大野市の重要資源であり

アイデンティティである

「水」にフォーカスし

市民や関係者に

「水」に関する意識を高めてもらい

一致団結・協力・共創しながら

ゆくゆくは水関連産業誘致 / 育成による

雇用創出や

地域活性化を目指す



# CWP活動



■水をたべるレストラン第1弾「水まんじゅう」  
平成28年6月29日販売開始



■東ティモール現地視察  
平成28年10月17日～23日



■水をたべるレストラン ブース出展  
平成28年8月15、16日おおの城まつり会場



平成28年1月～  
安全な水源の確保に苦しむ国  
**東ティモール民主共和国**  
へ支援開始

## イベントでのPR活動



■名水マラソンで走った距離に応じた寄付活動  
平成28年5月22日



■第2回大野の水と未来を語る集い  
「東ティモール視察報告会」  
平成29年1月28日



■第1回大野の水と未来を語る集い  
平成28年10月8日

## 一般財団法人水への恩返し財団設立

設立日 平成28年1月4日

代表理事 岡田高大

目的 大野市民の水への感謝の思いを醸成し、大野市の恵まれた水環境を後世に残し、国内外の人々に発信するとともに、世界の安全な水が供給されていない地域を支援する

- 事業
- (1) 水環境の保全と改善に寄与する事業
  - (2) 水への感謝の思いを醸成する事業
  - (3) 安全な水が供給されていない地域を支援する事業



# 12. 大野市森・水保全条例

## 概要

水源地域の保全に関し、市、市民、土地所有者、施設設置者の責務を明らかにするとともに、水源地域内の土地の所有権の移転等及び工作物の設置について、必要なことを定めることにより、水源地域の機能の維持に寄与することを目的として策定。

### ■届出対象地域(水源地域)

市内全域の登記地目又は現況地目が、山林又は保安林となる地域

### ■届出について

#### 土地売買等の契約を行う場合

土地所有者は、土地売買等の契約を締結しようとする日の30日前までに、市長への届出が必要となります。(1契約が1,000㎡以上のもの)

#### 対象工作物の設置を行う場合

水源地域内に水質を汚染する又は水量に影響を及ぼすおそれのある営利を目的とした事業に係る施設を設置しようとする場合は設置しようとする日の30日前までに、市長への届出を行うとともに、協議が必要になります。



届出件数(平成29年1月末現在) 土地売買等の契約 15件

# 13. 越前おおのエコフィールド

## 概要

【活動概要】参加団体・企業や地域の方と一緒に、ドングリなどの苗木を育てる森林(もり)づくり活動や、自然環境教育、自然体験などの取り組みを行う。

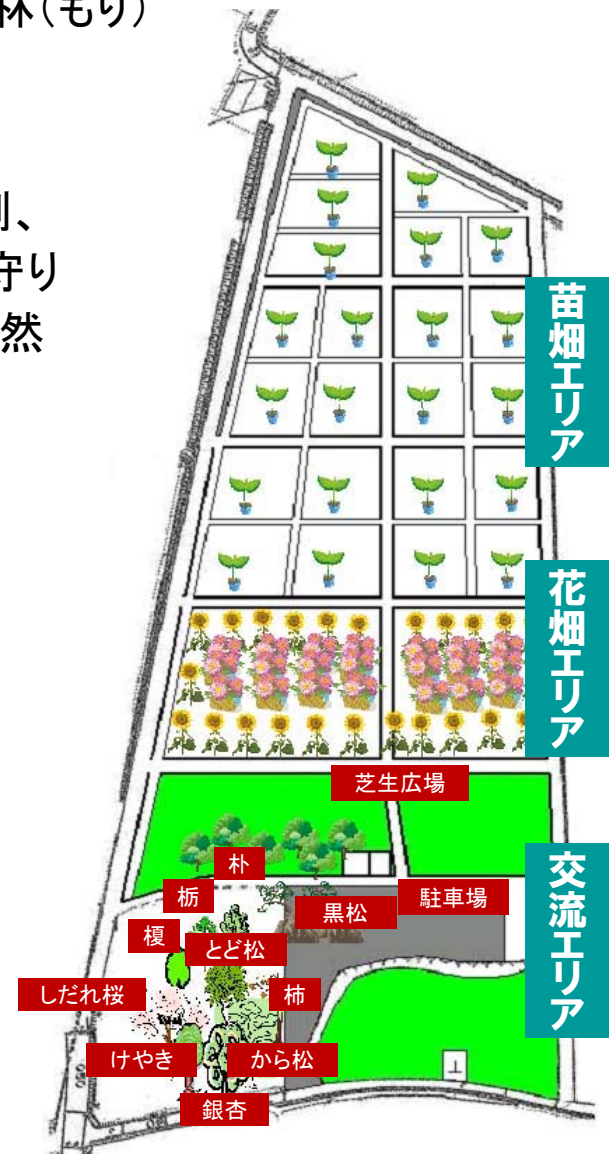
【目的】福井営林署跡地(エコフィールド)においてドングリなどの苗木を育成し、森づくり活動に活用することにより、水源涵養、自然災害の抑制、二酸化炭素の削減等、公益的機能を持つ大野市の広大な森林を守り育てる一助にするとともに、緑化活動の啓発、自然環境教育及び自然体験等の環境保全活動を行うことを目的としている。

【管理運営】一般財団法人 越前おおの農林楽舎へ委託

【イベント運営】一般財団法人 水への恩返し財団へ委託

越前おおのエコフィールド管理・運営協議会参加企業等(32団体)

NTT西日本福井支店/九頭竜森林組合/福井新聞社/福井放送/北陸電力(株)福井支店/越前信用金庫/大野鉄工金属協同組合/大野市消防団/越前おおの森づくりネットワーク/北陸銀行大野支店/中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋/タニコーテック/越前大野駅/大野市内郵便局/日本たばこ産業(株)福井営業所/大野商工会議所/森永乳業(株)北陸支店福井営業所/J-POWERグループ九頭竜/福井銀行大野支店/福邦銀行大野支店/ハニー新鮮館/九頭竜川ダム統合管理事務所/大野青年会議所/福井県奥越農林総合事務所/福井県奥越土木事務所/ブルーシー・アンド・グリーンランド財団/住友林業(株)住宅事業本部福井支店/福井グリーンパワー/大野市教育委員会/大野市/一般財団法人越前おおの農林楽舎/一般財団法人水への恩返し財団



■エコフィールド



# 活動状況

## 【ドングリの里親事業】

日付：4月下旬～

参加者：市内小学2年生 254人（市内10小学校）

市内小学1年生 6人（市内2複式学級校） 計260人



■森林のはたらきについて



■ドングリ種まき



## 【ひまわりの播種】

播種日：6月18日（土） 約4,000㎡に播種

参加者：管理・運営協議会（大野商工会議所、森永乳業北陸支店福井営業所、J-POWERグループ九頭竜、福井銀行、福邦銀行等 22名）



# 活動状況

## 【コスモスの播種】

播種日：7月23日（土）

参加者：管理・運営協議会（ハニー新鮮館、九頭竜ダム統管理事務所、大野青年会議所、県奥越農林総合事務所、県奥越土木事務所、住友林業住宅事業部福井支店、福井グリーンパワー、市教育委員会、越前おおの農林学舎、水への恩返し財団等 26名）



## 【ひまわりの開花】

開花日：8月8日

約25,000本のヒマワリが開花

8月10日から約1週間見ごろ



※7月17日(日)に予定していました「森づくりイベント」（平家平植樹地の保全管理作業）は、雨天のため中止となりました。



# 活動状況

## 【ドングリの森づくり：どんぐり拾い・種植え・植樹】

日付：平成28年10月10日（月・祝）

参加者：越前おおのエコフィールド管理・運営協議会参加企業等 約120人

### ■ドングリ拾い



### ■ドングリ苗木越冬作業





# 14. カヌーを使った水辺の安全教室

## 概要

B & G財団のカヌー無償貸与制度を活用して、また、今年度は新たにカヌーを8艇購入し、市内の小学生を対象に、プールやダム湖でカヌーを使った水辺の安全教室や、カヌー出前講座を行った。

### 【実施日】

平成28年7月7日(木)～7月27日(水)

計13回

### 【会場】

- ・九頭竜湖(下半原)・B & G海洋センタープール
- ・市内小学校

### 【主催】

大野市教育委員会

### 【内容】

着衣泳、ライフジャケット浮遊体験、カヤックの操艇など

### 【参加者】

延べ217人

### 【指導】

福井県カヌー協会・生涯学習課スポーツ振興室



■着衣泳



■プールでの操艇



■ダム湖での操艇



■カヌーツーリング



■カヌーポロ体験



■カヌー出前講座



# 15. 化石発掘体験

## 概要

交流人口の増加と地域の活性化を目的に、九頭竜川上流域に位置する和泉地区の地層から産出される恐竜やアンモナイト、貝類、植物などの化石を活用して、化石発掘体験を開催。

【会 場】九頭竜国民休養地内(大野市角野)

【実施日】平成28年4月29日～11月30日のうち  
土・日・祝日、GW・夏休み期間の毎日

【主 催】大野市、NPO法人九頭竜化石研究会(大野市朝日)

【内 容】化石発掘体験

【入込み人数】 延べ3,440人



# 16. 真名川河川敷サイクリングコース整備

## 概要

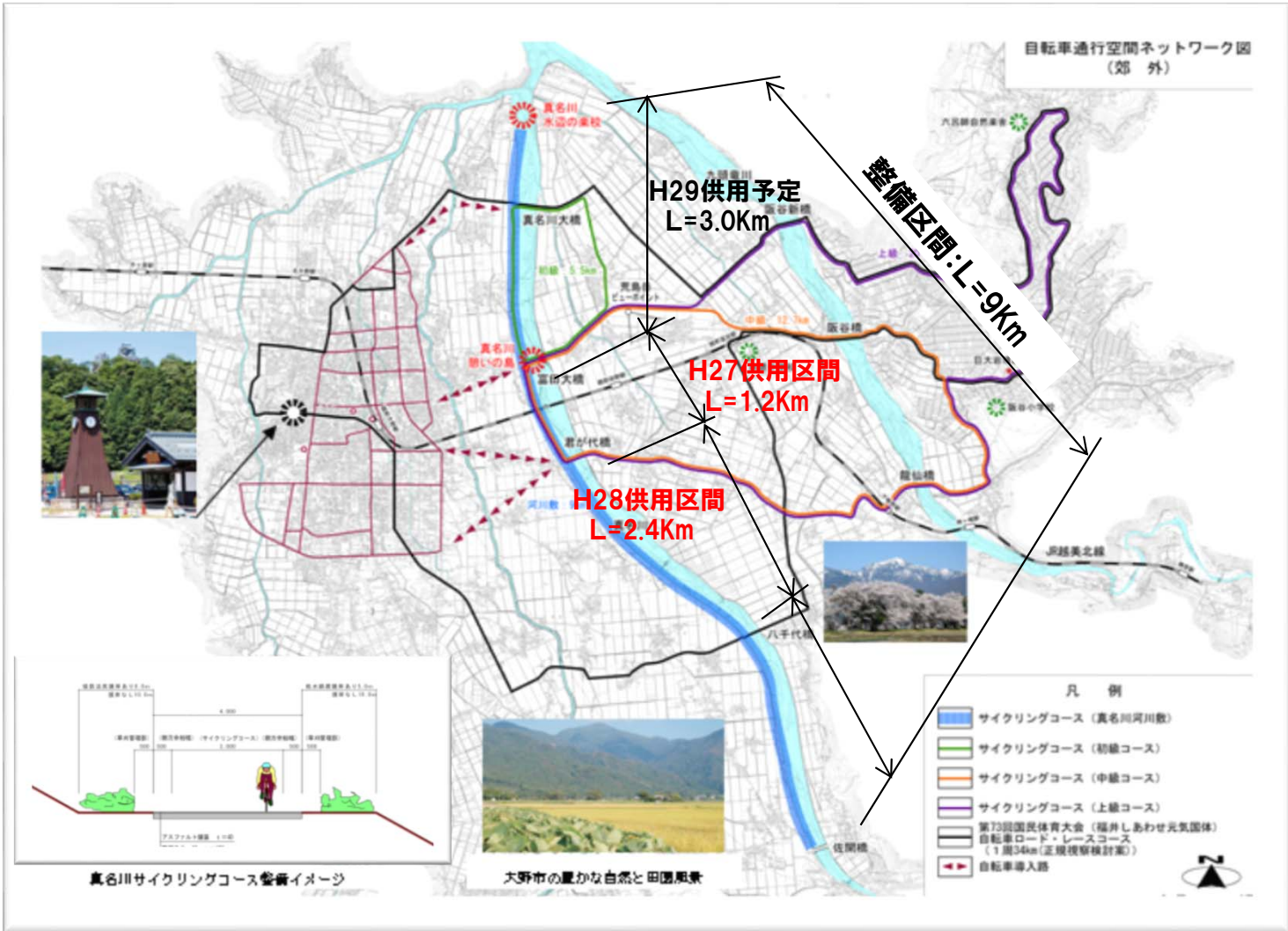
「大野市自転車を活用したまちづくり計画」に基づき、平成28年度は、君が代橋上流から八千代橋まで約2.4kmの区間の、サイクリングコースや駐車場等周辺施設を整備を行った。富田大橋付近から八千代橋まで約3.6kmの区間の整備が完了。今後、真名川水辺の楽校から佐開橋に至る全長約9kmの区間のうち、残る5.4kmの区間を整備する。

**【実施主体】**大野市

**【整備目的】**  
 自転車を活用し健康維持レクリエーションを推進する。

**【利活用状況】**  
 供用開始延長が1.2kmと短く、小学生低学年の家族が練習に利用している。イベントを開催(1回)。

**【課題】**  
 車と重用区間があり安全対策が必要と考える。





## 計画

道路を利用するサイクリングコースと異なり、自動車の通行を気にすることなく走ることができ、水辺のせせらぎと柔らかな川風を体にかけて、遠くに日本百名山の一つ「荒島岳」を眺めるなど自然を体感できる魅力あるコースを目指す。

主な施設として、君ヶ代橋上流部には、真名川からの流水を引き込む小河川と親水空間を配置し、子供たちが安心して水遊びを体験できる空間の創出。





# 17. 大野市とモンベルの協定締結

## アウトドア活動における協定 (平成28年10月)

大野市はアウトドア用品メーカーのモンベルと、自然環境の中で観光を楽しむ「エコグリーンツーリズム」など、アウトドア活動で協力する連携協定を締結した。

荒島岳や九頭竜湖畔など、大野市が誇る自然や観光や観光イベントなどのモンベル会報誌への掲載や、越前おおの農林楽舎と連携したトレッキングやカヤック、サイクリング、キャンプなどエコグリーンツーリズムの推進などで協力する。

新聞記事より

## 地方創生に向けた相互連携・協力に関する協定 (平成29年2月)

大野市は(株)モンベルと「地方創生に向けた相互連携・協力に関する協定書」の調印式を実施した。本包括協定により、以下の連携事項を強化していく。

- ・自然体験の促進による環境保全意識の醸成に関すること。
- ・子どもたちの生き抜く力の育成に関すること。
- ・自然体験を生かした健康増進に関すること。
- ・防災意識と災害対応力の向上に関すること。
- ・エコツーリズムの促進による地域経済の活性化に関すること。

など

大野市ホームページより



平成28年10月21日 日刊県民福井新聞

# 18. 大野市の観光客数が過去最多の212万人

## 概要

大野市を2016年に訪れた観光客数は212万9800人で、前年より5万7800人増え、過去最多となった。

まちなか観光客が増えており、市は「天空の城」越前大野城」の人気の続いているとみている。

まちなか以外では九頭竜ダム周辺で33万2700人であった。

市は、今後、中部縦貫自動車道の全線開通や北陸新幹線の県内延伸が見込める中、まちなかと郊外を結び付けた滞在型観光を推進したい、としている。

新聞記事より

## 大野観光客212万9800人

### 前年比増「天空の城」など要因

大野市を二〇一六年に訪れた観光客数は二百一十二万九千八百人で、前年より五万七千八百人増えた。雲海に浮かぶように見える「天空の城・越前大野城」人気で、まちなかを巡る人が増えたことなどが要因。ま

な周遊と、越前大野城や旧内山家住宅などの文化施設を合わせたまちなか観光は、六万九百人増の百七十七千五百人。宿泊客は十二万六千五百人で、一万五千人増となった。まちなか以外では、九頭竜ダム周辺が三十三万二千七百人、六呂師高原が十二万八千七百人、九頭竜国民休養地が十一万一千四百人などだった。

県外から訪れたのは百二十七万四千七百人。地域別で見ると中京が32・3%、北陸が28・5%、関西が20・6%、関東が10・2%だった。外国人観光客は全体の1%以下。

市商工観光振興課では、近隣市町と連携した国内外への情報発信や、宿泊施設への支援を続けることにも、「地域資源に磨きを掛けることで市民が誇りを持ち、市民挙げての情報発信につながれば」と話している。

(正津聡)



# 19. 「九頭龍川クリーンアップ大作戦」を開催！

## 3河川協力団体の呼びかけにより、水源地域活性化の取り組みを展開

■ 管内の3つの河川協力団体(ドラゴンリバー交流会、奥越漁業協同組合、大野市漁業協同組合)の呼びかけで、「九頭龍川クリーンアップ大作戦」が開催された。

■ 富田大橋下の真名川グラウンドに約130名、和泉地区朝日橋に12名が参加、真名川ダム・九頭竜ダムでも清掃活動を行った。

■ 一時間半程度で、軽トラ4台分(産業廃棄物を除いて270kg)のゴミを回収した。中には、古タイヤ、農業用マルチ、瓦屑等の「産業廃棄物」もあった。

■ 主催者から、「次世代を担う若者が50名近く参加してくれたことが大変嬉しい。」との声があった。



■ 清掃状況



■ 回収された「産業廃棄物」



開催日時:平成28年5月22日(日)

開催地域:大野市内各所

【主な参加団体】順不同

大野市観光協会、一般財団法人水への恩返し財団、北陸電力(株)福井支店、電源開発(株)九頭竜電力所、福井県奥越土木事務所、大野市、堂本区、

フェンテ大野FC、九頭竜川ダム統合管理事務所 他

### ◆ 評価・課題等 ◆

当日、グラウンドに居合わせたサッカーチームの親子に、飛び入りで参加いただけた。その方たちは、次年度も参加してもらえるとのことので、活動が広がりを見せだした。

今後も地域の活動として継続できるよう、定着を目指したい。



# 20. NPO法人九頭竜自然楽校

## 活動概要

NPO法人九頭竜自然楽校は、以下の三つのミッションを掲げて活動している。

- ・親子で楽しむ自然体験活動サポート
- ・アクティブシニア層の充実したセカンドライフづくりサポート
- ・地元観光情報の発信と交流促進。

### ■九頭竜新緑・紅葉まつりでの取り組み(平成27年度実施状況)

九頭竜新緑・紅葉まつりなどで流木の無料配布と木工アート教室を開催。



■流木による木工アート教室「九頭竜新緑まつり」



■流木による木工アート教室「九頭竜紅葉まつり」



# 21. ノーム自然環境教育事務所(奥越前まんまるサイト)

## 活動の目的

奥越地域の自然・産業資源を通して、次世代の地域を担う人材の育成を目的としている。  
 また、四季を通して地域の人材・農林業・暮らしや文化を活かした参加体験型エコグリーンツーリズムを進め、訪れる方々を対象に地域の素晴らしさを体感していただく。

## 継続事業～水辺編～

### ■ 水辺の活動(場所:九頭竜新緑まつり会場)

水辺の活動の楽しさを理解していただくためのカヌー体験を天候の安定している春や秋に実施。



- ・カヌー操作やタモ網の使い方
- ・捕獲した魚の観察と生態等の解説
- ・全員で協力しての捕獲

### ■ 川の安全基礎講座(石川、福井にて開催)

川の事故を防ぐために、水流水圧を体感したり、川の構造やレスキュー方法等について基本的な安全講座を開催。



- ・PFD(ライフジャケット)を装着し川流れ
- ・川の流れを読む
- ・中洲での救助方法
- ・スローロープでの救助方法
- ・危険予知トレーニング



### ■ 親子体験(幼児～小学生やスポ少団体:下打波)

最近近づくことが少なくなった川での体験活動。  
 真夏の日の水の冷たさや心地よさを親子で体験。



- ・森と川のつながりを湧水で理解
- ・伏流水の不思議
- ・共生(サンショウウオ)の理解
- ・川の生き物探検
- ・共生(サンショウウオを通して)の理解
- ・PFDを装着しての川流れ
- ・溪流下り登り
- ・民家でのカマド炊きやお風呂沸かし
- ・親子でのコミュニケーション

### ■ 地域連携(農林楽舎・大野市環境塾)

昨年までのアグリマイスターは、今年より農林楽舎と協働でお米づくりとともに、地域の自然や人との関わり・体験をテーマに進めました。



- ・田植え～稲刈り～販売の体験
- ・旅塚川でのガサガサ体験&川流れ
- ・野菜定植と収穫
- ・地場産食材での料理体験
- ・親子でのコミュニケーション
- ・赤根川ガサガサ隊では、夏やすみに親子を対象に生き物調査を行った。

## 新規事業～「小水力キャンプ」環境教育編～

- 水辺の活動(場所:九頭竜ダム&前坂キャンプ場)  
自然エネルギーの利活用への理解を深め、その体験活動を通して、郷土愛を育む。



- ・九頭竜ダム&発電所内レクチャーと見学
- ・和泉地区にて川遊び
- ・小水力発電機の実地体験
- ・参加者同士のコミュニケーション

- 地域連携～九頭竜ダム「バス駆除事業お手伝い」～  
ダム湖に生息する外来生物「ブラックバス」駆除のお手伝い。  
また本活動をFBやHPにてPR。



- ・地域と連携しての自然・環境保全
- ・外来生物駆除の支援

- 水辺のリーダー講座 (RAC&JRCA資格講座)  
川遊びやカヌーなど水辺の活動を安全に楽しく進めるために、基本的なフィールド特性やリスクマネジメント、救助方法等について体験を通して理解する。



- ・PFD装着しての川流れ
- ・川の流れを読み解く
- ・中州での救助方法
- ・スローロープでの救助方法
- ・危険予知トレーニング
- ・基本的なカヌー操作や救助法

## ◆来年度に向けて

- ・小水力キャンプの充実
- ・カヌー体験を定期的実施(国体会場の利用)
- ・他団体と連携して沢登りツアーの実施(夏季)
- ・川遊び拠点「川の水浴場」復活への取り組み
- ・近隣宿泊施設／旅行会社との関係～体験活動の提案～



# ダムによる地域貢献について

## 平成30年に九頭竜ダムが管理開始50年を迎えます

昭和34年8月の台風7号及び9月の台風15号(伊勢湾台風)による大洪水を契機として、九頭竜川の治水計画の再検討が進められ、昭和35年12月に九頭竜川上流群のダム群によって洪水内洪水の調節を行う治水計画が決定されました。

九頭竜ダムは、洪水調節と発電を目的とした多目的ダムとして、国土交通省(旧建設省)と電源開発(株)とが共同で事業を実施し、昭和43年7月に完成しました。

### ■伊勢湾台風による被害状況(旧泉村)

死者・行方不明者:11人

重軽傷者:24人

全壊・半壊・流出家屋:354戸

床上浸水:1052戸



大野郡和泉村板倉付近

### ダム事業の経緯

年月	事業内容
昭和34年9月	伊勢湾台風の発生
昭和35年12月	ダム建設によって洪水調節を行う改修計画の決定
昭和37年12月	実施計画調査着手
昭和39年9月	建設着手(電源開発(株)九頭竜川建設所開設)
昭和42年12月	試験湛水開始
昭和43年5月	試験湛水完了
昭和43年7月	管理開始
平成18年2月	真名川ダム・九頭竜ダム水源地域ビジョン策定
平成30年	九頭竜ダム管理開始50年

平成30年には記念式典等の開催を検討中であり、その節はご参加、ご協力お願いいたします。

## 天ヶ瀬ダムでの記念イベント(参考)

記念イベントのイメージとして、直近で50周年イベントを実施した天ヶ瀬ダムの事例を参考として示します。

### 50周年記念式典

- 式典、学術講演、公募による写真コンテストの表彰式、天ヶ瀬ダム建設時に作成された映画の上映等を実施

### 50周年記念ウォークツアー

- 天ヶ瀬ダム周辺の名所及び掘削工事中の地下トンネルや放流シーン等の見学ツアーを実施



### 写真コンテストの実施

- 天ヶ瀬ダムに関わる写真を公募し、優秀作品は記念式典での表彰、最優秀賞はダムカードの写真として使用

### 50周年記念植樹式

- 地元の中学校、森林ボランティア、その他関係機関により記念植樹を実施



### 50周年記念写真展

- 天ヶ瀬ダムを中心とした流域の変遷、これまでの洪水等の被災の記録、ダム建設中の記録写真等を展示



※写真の出典: 淀川ダム統管理事務所ホームページ

(<https://www.kkr.mlit.go.jp/yodoto/amagase50/kinenjigyo.html>)



## ダムを活用した地域貢献

九頭竜ダム管理開始50年の節目を契機に、これまでの取り組みを見直し、またダムを魅力ある観光資源として活用していくことで、九頭竜川流域のさらなる活性化を図りたいと考えています。

この先の50年を見据えて、持続性のある取り組みが必要であると考えており、ダムの活用に関する事例を参考として示します。

## 真名川ダム監査廊の活用について

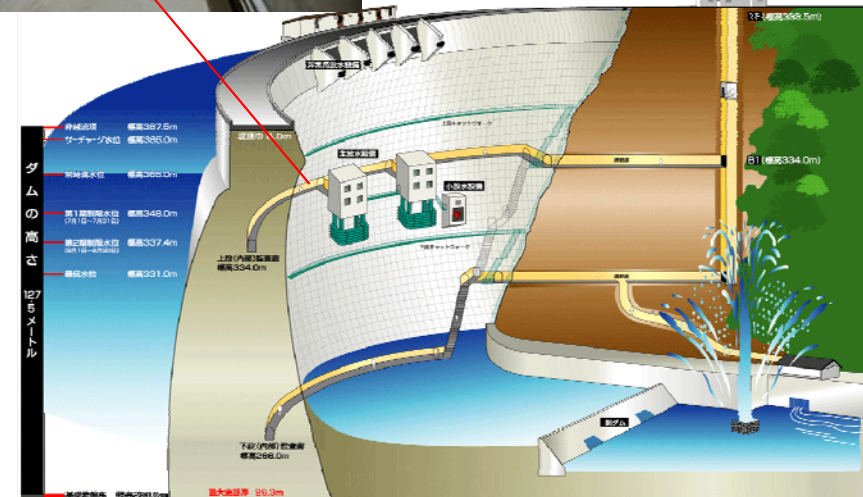
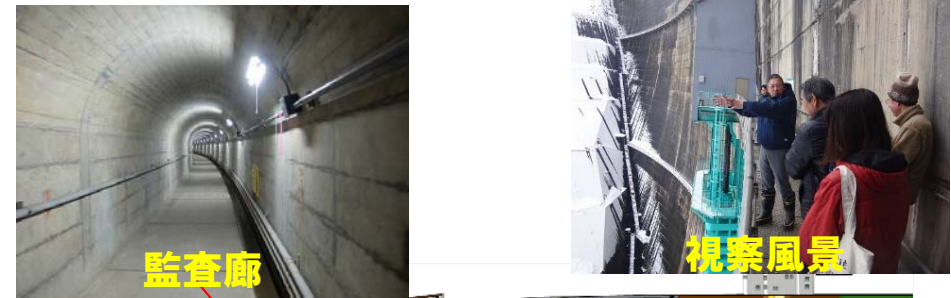
監査廊は、ダムの点検に使用するためつくられたものですが、近年では、一部を見学ルートとしても活用しています。

一方で他ダムでは、温度が一定であることを生かした貯蔵酒づくりが行われている事例があり、地元の酒造会社と連携することで、地域活性化の一助となっています。

監査廊の有効活用について、(一財)越前おおの農林楽舎と連携した取り組みについて検討中です。

### <検討の対象となる貯蔵物(案)>

- 酒：日本酒・ワイン・焼酎など
  - ・話題性による差別化を目指す
- 農産品：上庄里芋など
  - ・土産品が少なくなる冬季の対応等
- その他



### [監査廊の状況]

- 規模：幅員3m×延長50m程度  
(保管場所としての実質幅員1.5m程度)
- 環境：11～15℃程度、無風
- その他：湿度・落下菌について今後調査

## ダム貯蔵酒の可能性(参考)

奥越地域等における酒造メーカーを下表に示す。大野市内には日本酒のメーカーが4社、ワインのメーカーが1社ある。

表 奥越地域の酒造メーカー等

酒造名		代表銘柄	住所
日本酒	(株)一本義久保本店	一本義 上撰本醸造	勝山市沢町
	(株)宇野酒造場	一乃谷	大野市本町
	源平酒造(株)	源平	大野市要町
	(有)南部酒造場	花垣	大野市元町
	真名鶴酒造(資)	真名鶴	大野市明倫町

酒造名		代表銘柄	住所
ワイン	(株)白山やまぶどうワイン 「白山ワイナリー」併設	山ぶどうワイン 樽	大野市落合

※白山ワイン提供店(大野市内)： ミルク工房奥越前(大野市南六呂師)、ホテルフレアール和泉(大野市下山)

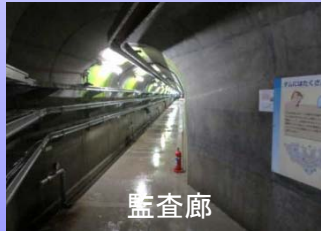
酒造名・取扱い名		銘柄など	製造所
焼酎	(株)一本義久保本店	米焼酎	勝山市沢町
	テラル越前JA	里芋焼酎「いもかしら？」	(岐阜県内で製造)



## 貯蔵酒の例 その1. ダム

### 宇奈月ダム(富山)

- ・宇奈月温泉自治振興会主催により、ダム貯蔵酒の蔵入れを開始(2017.3.3)。
- ・堤体内の監査廊は温度11℃前後、湿度60-90℃。



監査廊



宇奈月ダム

### 三国川(さぐりがわ)ダム(新潟)

- ・新酒の瓶を監査廊内に貯蔵(約6ヶ月)。
- ～八海山、鶴歳、越後ワインなど～
- ・お披露目会で一般市民に還元。
- ・参加費用の一部を花植えなどの資金に充当。
- ・食味比較は行っていない。



三国川ダム

### 志津見ダム(島根)

- ・商用ベース初のダム貯蔵酒「治酔」を飯南町ポピー祭り2016で720ml、2千円で200本限定発売。
- ・13℃に6ヶ月貯蔵。
- ・国土交通省、飯南町、赤名酒造の三者による3カ年プロジェクトの成果。



志津見ダム

### 滝畑ダム(大阪)

- ・2016年12月、ダムの湖底やダム建設用に掘られたトンネル内で地酒を熟成させる実験を開始(吟醸原酒、特別純米酒、本醸造)。
- ・ダム湖(水深約33m)での酒の熟成実験は全国発。
- ・湖底は7℃前後、トンネル内は12℃前後。
- ・府と市、地元蔵元の西條合資会社が提携して実施。
- ・2017年6月に利き酒や成分分析を行う予定。

### 産経ニュース

2016.12.26 17:09

全国初！ダム湖底で地酒を熟成 大阪・河内長野で実験、特産品に

大阪府河内長野市にある滝畑ダムの湖底や、ダムの建設用に掘られたトンネル内で26日、地酒を熟成させる実験が始まった。ダムを管理する府によると、ダム湖での酒の熟成実験は全国初という。

湖底は年間通じて水温7度前後、トンネル内は気温12度前後と温度が一定なことに着目。府と市、地元蔵元の西條合資会社が連携して実施した。来年5月末まで貯蔵、同6月に利き酒や成分の数値分析を行う。市は特産品化を目指している。

吟醸の原酒と特別純米酒、本醸造の3種類を2本ずつ計6本、保護袋に包んで水深約33メートルの湖底に沈めたほか、長さ約90メートルのトンネルの最も奥にも6本を貯蔵した。

同社代表の西條陽三さん(52)は「半年から1年寝かすことで味がまろやかになる。利き酒を楽しみにしている」と話した。



地酒を熟成させる実験で、ダム建設用に掘られたトンネル内にケースに入れて置かれた日本酒＝26日、大阪府河内長野市の滝畑ダム



堤高：62.0メートル  
堤頂長：120.5メートル  
湛水面積：52.3ヘクタール

滝畑ダム

## 貯蔵酒の例 その2. 廃トンネルその他

### <廃トンネル> 喜久水酒造(秋田)

- ・旧奥羽本線の廃トンネルを取得(全長約100m)。
- ・庫温12℃、湿度80-100%。
- ・地下貯蔵酒の無料見学会を実施。
- ・酒造会社のHPに、米によって熟成に違いがある(悪い方向に進むものもある)との記述がある。



### <廃トンネル> 神楽酒造(宮崎)

- ・国道沿いの「トンネルの駅—高千穂観光物産館—」の施設の一部として廃トンネルを利用したトンネル貯蔵庫を設置(延長1,115m)。
- ・温度17℃、湿度70%程度。
- ・焼酎の原酒を樽の状態で貯蔵。

### <廃トンネル> 宗玄酒造(石川)

- ・能登線宗玄トンネルのうち80mを貯蔵庫(隧道庫)として整備。
- ・温度14-15℃。
- ・ビン詰めの日酒の一部を保管・熟成させている。
- ・カビの侵入を防ぐため、熟成時にビンにPET樹脂でラッピングしている。
- ・いしかわ産業化資源活用推進ファンドを得て、専用ラベルやPRパンフレットを作成。
- ・隧道庫オーナー倶楽部を発足。オーナーは自分の名が入った専用棚で貯蔵・熟成ができる。



### <廃トンネル> 関谷醸造(愛知)

- ・吟醸工房近くの貯酒トンネル内で熟成。
- ・気温15℃前後とされる。

### <発電所トンネル> 株式会社北海道日高ブランド (北海道)

- ・日高山脈の地下の発電所トンネルをトンネルセラーとして利用。
- ・オーストラリアからの輸入ワインを熟成させて出荷する。
- ・研究期間3年。ワインカーブは気温9℃、湿度80%。
- ・個人と企業向けにカーブエイジングスペースを提供。

### <地下工場跡> 島崎酒造(栃木県)

- ・大戦末期に戦車製造用に建造された地下工場跡を利用。
- ・幅・高さとも3.5m、延長100mの洞窟3本を利用。温度5-16℃、湿度80-90%とされる。
- ・オーナーズボトルシステムが有り、自分のボトルを5年、10年、20年預けることができる。

### <廃坑利用> 真名鶴酒造(大野市)

- ・中竜鉱山(旧和泉村)の廃坑を取得し吟醸酒の熟成酒づくりを1991年に開始。
- ・地下2kmの坑道は気温15℃、湿度90%で光があたらず振動がない環境が熟成酒に合うとされる。
- ・1992年に1年熟成酒をリリース。96年に5年熟成酒を完成。

### <風穴> 荒島風穴貯蔵酒(大野市)

- ・荒島風穴に酒を貯蔵。
- ・一般頒布の他、ふるさと納税特産品として扱った実績がある(真名鶴、源平、花垣、一乃谷などの地酒を扱う)。



大野市の酒の例 (新聞記事)

■大野市、廃坑利用の日本酒(真名鶴酒造)



**居酒屋親父の蔵ある記**  
片町の割烹「汐彩」主人  
金子泰朋さん



**真名鶴酒造**  
大野市

**廃坑を利用し熟成酒**

大野市内の中央を流れる真名川、源流部には真名川ダムがあり、ダム湖は麻那姫湖と名付けられ、湖畔には黄金色に輝く麻那姫像が観光客を迎える。

麻那姫像には悲しくも慈悲深い麻那姫伝説がある。千二百年ほど前、この地方が大干ばつに見舞われ、近隣の村人は飢饉に苦しむ多くの餓死者が続出。一帯を治める長者の娘「麻那姫」が、尊神様のお告げにより「この命を尊神様に捧げることで村人が救われるなら喜んで捧げよう」と、自ら人身御供となり、竜の住む川のふちに身を投じた。

とろろ、美しい鶴に姿を奪え舞い上がり、雨が降り、村人は救われたと伝わる。麻那姫伝説から酒名を「真名鶴」と名付けた大野市明倫町「真名鶴酒造」。初代の泉徳助さんが、現在の地に「七五二(宝暦元)

年からは続く酒造業、屋号「丸屋」を江戸後期に譲り受け、酒名は「龍乃尾」とある。三代目の時、第二次世界大戦の影響で醸造を中断し、戦後再開する時に社名と代表銘柄を改めたのである。

現在は五代目の泉恵介社長、五十二歳。酒蔵の跡継ぎになるべく、東京農業大学と国税庁醸造試験場で死蔵学、醸造学、微生物学を学び、一九八六年に卒業。そして社会勉強のために、滋賀県の北島酒造、代表銘柄は「御代栄」に入社することになったのだが、この

「真名鶴」と名付けた大野市明倫町「真名鶴酒造」。初代の泉徳助さんが、現在の地に「七五二(宝暦元)

年からは続く酒造業、屋号「丸屋」を江戸後期に譲り受け、酒名は「龍乃尾」とある。三代目の時、第二次世界大戦の影響で醸造を中断し、戦後再開する時に社名と代表銘柄を改めたのである。

現在は五代目の泉恵介社長、五十二歳。酒蔵の跡継ぎになるべく、東京農業大学と国税庁醸造試験場で死蔵学、醸造学、微生物学を学び、一九八六年に卒業。そして社会勉強のために、滋賀県の北島酒造、代表銘柄は「御代栄」に入社することになったのだが、この

「真名鶴」と名付けた大野市明倫町「真名鶴酒造」。初代の泉徳助さんが、現在の地に「七五二(宝暦元)

年からは続く酒造業、屋号「丸屋」を江戸後期に譲り受け、酒名は「龍乃尾」とある。三代目の時、第二次世界大戦の影響で醸造を中断し、戦後再開する時に社名と代表銘柄を改めたのである。

現在は五代目の泉恵介社長、五十二歳。酒蔵の跡継ぎになるべく、東京農業大学と国税庁醸造試験場で死蔵学、醸造学、微生物学を学び、一九八六年に卒業。そして社会勉強のために、滋賀県の北島酒造、代表銘柄は「御代栄」に入社することになったのだが、この

■大野の名酒飲み歩き

**大野の名酒飲み歩き 2イベント開催**

地酒による乾杯を推進する条例を導入している大野市で、酒蔵や地酒を提供する店を散策しながら回る二つのイベントが始まった。

酒蔵を巡るラリーは、市内の4軒の酒蔵で酒升の側面になるパーツを1個100円(税込み)ずつ購入。最後に市観光協会で底面を買って組み立てれば酒升が完成する。

「ちょい呑み酒遊」は、同協会や大野商工会議所などで「呑みたい券」(100円3枚つづり)を買い、「酒遊マップ」にある16店の中から好みの店を選び、券1枚で酒1杯と料理1品が楽しめる。

期間はいずれも来年2月29日まで。ラリーの問い合わせは同協会(0779・65・5521)、「酒遊」は同商議所(0779・66・1230)。

出典)読売新聞 朝刊 2015.10.23

出典) 日刊県民福井新聞 朝刊 2016.8.24

# ダム施設の魅力向上案

より親しまれる施設となるよう、見せ方の工夫などのリニューアルにより、ダム施設の魅力向上を検討中です。

## ■活用状況

	九頭竜ダム	真名川ダム
見学対象施設	展示室(見学自由) 天端(見学自由) 冬季連絡通路	監査廊、連絡通路 キャットウォーク ゲート室、水力発電機室 噴水 天端(見学自由)
活用が期待できる施設	ゲート室 等	監査廊(非公開箇所) 噴水とダムが同時に見えるスポット新設 等



## ■施設リニューアルの基本的な考え方

1. 既存の施設をより安全に、より楽しく見学できる
2. 新たな視点で見学できる



●真名川ダム 貯蔵酒つくる！

50m飛び出す大迫力！

柵を高くて安全に！

## ●九頭竜ダム



展示室



天端



連絡通路



連絡通路



連絡通路からの眺め

張り出しデッキで怖さアップ！

現状は外が見えない →透明化！



# インフラツーリズムの可能性

大野市近郊では、九頭竜ダムや真名川ダムをはじめ、現在工事中である中部縦貫自動車道などの大規模土木施設があります。また、「道の駅(仮称)結の故郷」が平成32年度に供用予定であり、地域活性化につながることを期待されます。



出典) 福井県提供の「中分縦貫自動車道」パンフレットに追記



道の駅(仮称)結の故郷イメージパース  
出典) 大野市HP



真名川ダム見学会風景

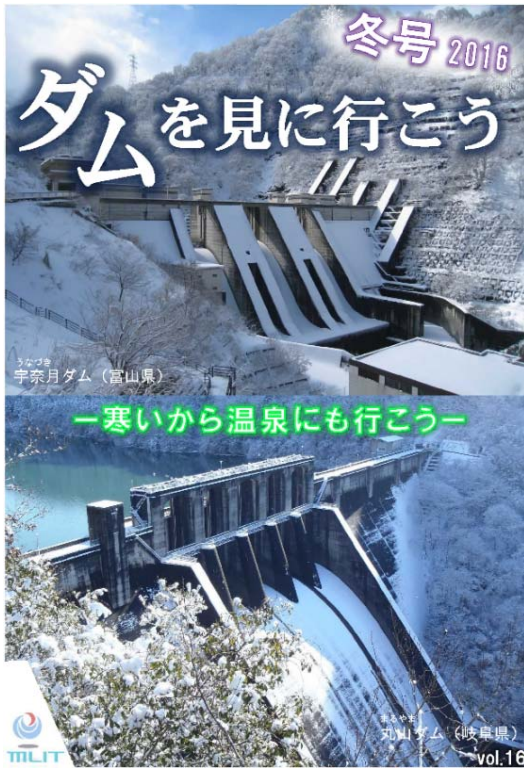


九頭竜ダムの紅葉

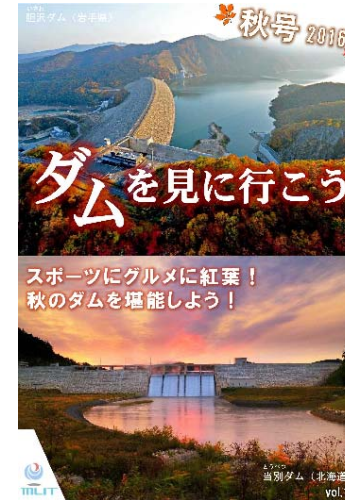


# 参考)ダムツーリズムの推進 (国土交通省HPより)

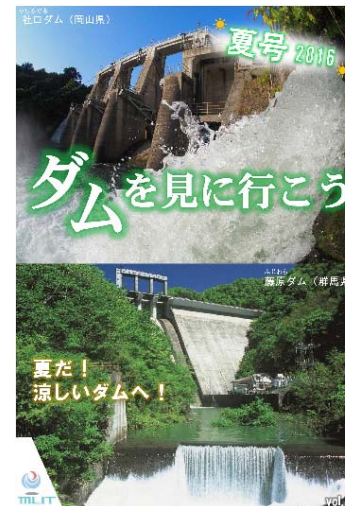
国土交通省では、民間ツアー会社と連携してダムツアーを実施している。ダムとその周辺地域の環境を活用し、地域と連携してダムの観光資源としての活用を図っている。また、ダムの工事現場も活用して完成前から観光資源としての効用を発現できるようダムのツーリズムを推進している。



■Vol.16 「ダムを見に行こう (冬号2016) H28.12発刊



■Vol.15 「ダムを見に行こう (秋号2016) H28.9発刊



■Vol.14 「ダムを見に行こう (夏特集2016) H28.6発刊



都道府県	ダム名	所在地	主催者	開催時期	備考
北海道	利根川ダム	利根川町	利根川町観光協会	7月10日	利根川町観光協会主催。利根川町観光協会HPより申し込み可能。
青森県	大湫ダム	大湫町	大湫町観光協会	7月10日	大湫町観光協会主催。大湫町観光協会HPより申し込み可能。
岩手県	大湫ダム	大湫町	大湫町観光協会	7月10日	大湫町観光協会主催。大湫町観光協会HPより申し込み可能。
宮城県	大湫ダム	大湫町	大湫町観光協会	7月10日	大湫町観光協会主催。大湫町観光協会HPより申し込み可能。
秋田県	大湫ダム	大湫町	大湫町観光協会	7月10日	大湫町観光協会主催。大湫町観光協会HPより申し込み可能。
山形県	大湫ダム	大湫町	大湫町観光協会	7月10日	大湫町観光協会主催。大湫町観光協会HPより申し込み可能。
福島県	大湫ダム	大湫町	大湫町観光協会	7月10日	大湫町観光協会主催。大湫町観光協会HPより申し込み可能。
茨城県	大湫ダム	大湫町	大湫町観光協会	7月10日	大湫町観光協会主催。大湫町観光協会HPより申し込み可能。
栃木県	大湫ダム	大湫町	大湫町観光協会	7月10日	大湫町観光協会主催。大湫町観光協会HPより申し込み可能。
群馬県	大湫ダム	大湫町	大湫町観光協会	7月10日	大湫町観光協会主催。大湫町観光協会HPより申し込み可能。
埼玉県	大湫ダム	大湫町	大湫町観光協会	7月10日	大湫町観光協会主催。大湫町観光協会HPより申し込み可能。
千葉県	大湫ダム	大湫町	大湫町観光協会	7月10日	大湫町観光協会主催。大湫町観光協会HPより申し込み可能。
東京都	大湫ダム	大湫町	大湫町観光協会	7月10日	大湫町観光協会主催。大湫町観光協会HPより申し込み可能。
神奈川県	大湫ダム	大湫町	大湫町観光協会	7月10日	大湫町観光協会主催。大湫町観光協会HPより申し込み可能。
新潟県	大湫ダム	大湫町	大湫町観光協会	7月10日	大湫町観光協会主催。大湫町観光協会HPより申し込み可能。
富山県	大湫ダム	大湫町	大湫町観光協会	7月10日	大湫町観光協会主催。大湫町観光協会HPより申し込み可能。
石川県	大湫ダム	大湫町	大湫町観光協会	7月10日	大湫町観光協会主催。大湫町観光協会HPより申し込み可能。
福井県	大湫ダム	大湫町	大湫町観光協会	7月10日	大湫町観光協会主催。大湫町観光協会HPより申し込み可能。
岐阜県	大湫ダム	大湫町	大湫町観光協会	7月10日	大湫町観光協会主催。大湫町観光協会HPより申し込み可能。
静岡県	大湫ダム	大湫町	大湫町観光協会	7月10日	大湫町観光協会主催。大湫町観光協会HPより申し込み可能。
愛知県	大湫ダム	大湫町	大湫町観光協会	7月10日	大湫町観光協会主催。大湫町観光協会HPより申し込み可能。
三重県	大湫ダム	大湫町	大湫町観光協会	7月10日	大湫町観光協会主催。大湫町観光協会HPより申し込み可能。
滋賀県	大湫ダム	大湫町	大湫町観光協会	7月10日	大湫町観光協会主催。大湫町観光協会HPより申し込み可能。
京都府	大湫ダム	大湫町	大湫町観光協会	7月10日	大湫町観光協会主催。大湫町観光協会HPより申し込み可能。
大阪府	大湫ダム	大湫町	大湫町観光協会	7月10日	大湫町観光協会主催。大湫町観光協会HPより申し込み可能。
兵庫県	大湫ダム	大湫町	大湫町観光協会	7月10日	大湫町観光協会主催。大湫町観光協会HPより申し込み可能。
奈良県	大湫ダム	大湫町	大湫町観光協会	7月10日	大湫町観光協会主催。大湫町観光協会HPより申し込み可能。
和歌山県	大湫ダム	大湫町	大湫町観光協会	7月10日	大湫町観光協会主催。大湫町観光協会HPより申し込み可能。
徳島県	大湫ダム	大湫町	大湫町観光協会	7月10日	大湫町観光協会主催。大湫町観光協会HPより申し込み可能。
香川県	大湫ダム	大湫町	大湫町観光協会	7月10日	大湫町観光協会主催。大湫町観光協会HPより申し込み可能。
愛媛県	大湫ダム	大湫町	大湫町観光協会	7月10日	大湫町観光協会主催。大湫町観光協会HPより申し込み可能。
高知県	大湫ダム	大湫町	大湫町観光協会	7月10日	大湫町観光協会主催。大湫町観光協会HPより申し込み可能。
福岡県	大湫ダム	大湫町	大湫町観光協会	7月10日	大湫町観光協会主催。大湫町観光協会HPより申し込み可能。
佐賀県	大湫ダム	大湫町	大湫町観光協会	7月10日	大湫町観光協会主催。大湫町観光協会HPより申し込み可能。
長門県	大湫ダム	大湫町	大湫町観光協会	7月10日	大湫町観光協会主催。大湫町観光協会HPより申し込み可能。
熊本県	大湫ダム	大湫町	大湫町観光協会	7月10日	大湫町観光協会主催。大湫町観光協会HPより申し込み可能。
大分県	大湫ダム	大湫町	大湫町観光協会	7月10日	大湫町観光協会主催。大湫町観光協会HPより申し込み可能。
鹿児島県	大湫ダム	大湫町	大湫町観光協会	7月10日	大湫町観光協会主催。大湫町観光協会HPより申し込み可能。
沖縄県	大湫ダム	大湫町	大湫町観光協会	7月10日	大湫町観光協会主催。大湫町観光協会HPより申し込み可能。

～ダム周辺でのイベント一覧～



# 水源地域ビジョンの推進に関するアンケート

## アンケート実施

九頭竜ダム管理開始50年を迎えるにあたり、平成29年度はこれまでの活動の振り返りと今後の活動内容の点検に取り組むため、今後の議論の手がかりとしていくためのアンケートを実施した。

### アンケート実施概要

実施時期:平成29年2月末  
対象者:水源地域ビジョン委員会参加25団体  
回収結果:14通

### 要旨

○団体のあり方は「現状維持」を考えている団体が多いが、  
中には団体同士での意見交換等交流を図りたいと考えている団体もある

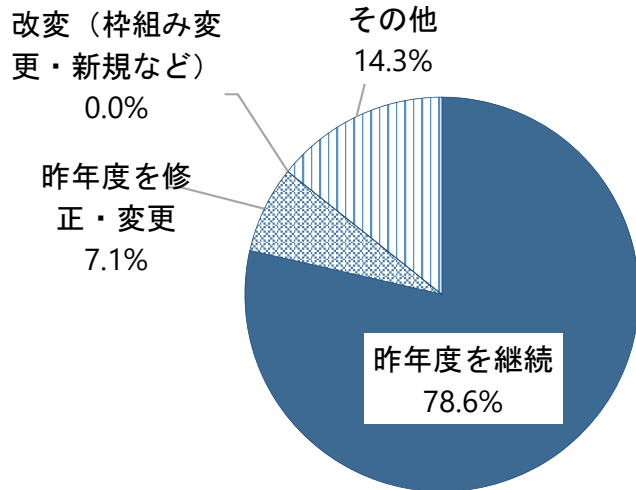
- ・平成29年度の活動は昨年度を継続と回答 約79%
- ・団体の強み、弱みは特にないと回答約 64%
- ・連携したい団体は特にないと回答 約71%

○ビジョン委員会の活動内容が不明瞭であると感じている団体が多いが、  
効果を感じている団体もある。

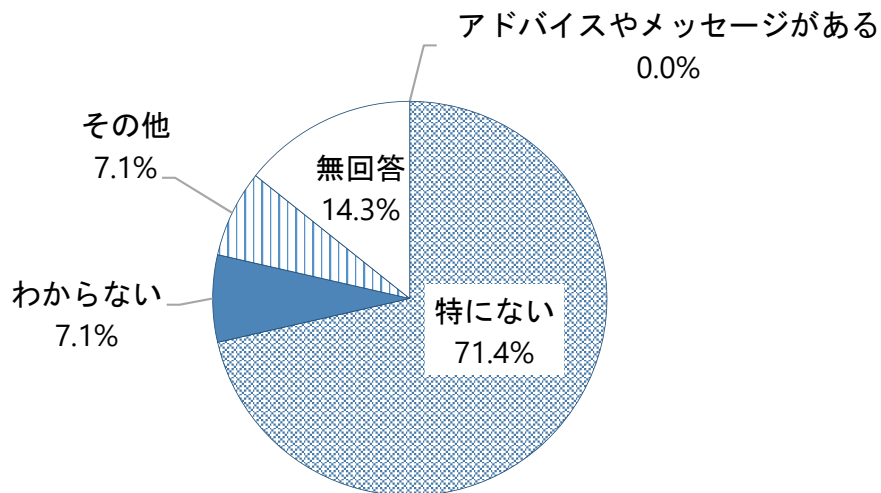
- ・会の成果はわからないと回答 約71%
- ・会の改善点は特にない、わからないと回答 約86%
- ・期待以上の成果ありと回答 約21%

各団体が主体性を持ちながら活動するとともに、  
連携方策や行政側の支援のあり方等について  
検討が必要

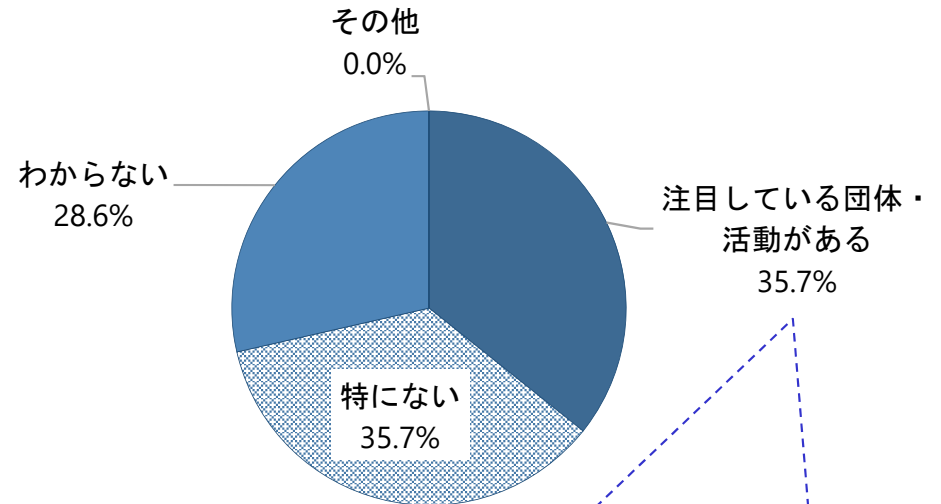
## 設問1-1 平成29年に予定している活動



## 設問1-3 他団体の活動で気づいたこと



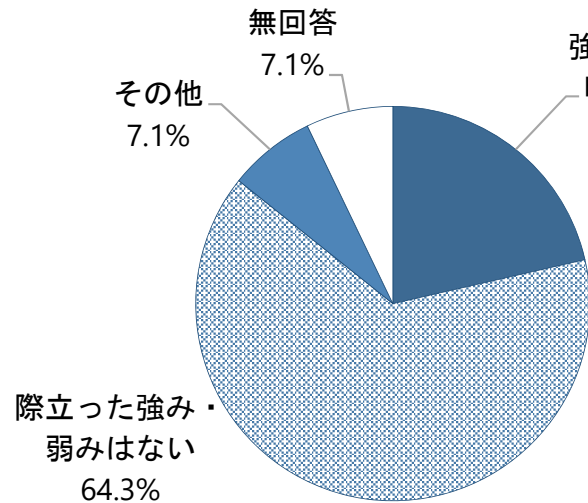
## 設問1-2 特に注目している他団体



- 森と湖に親しむ旬間行事でのパネル展示による環境保全PR及び水力発電所による再生可能エネルギーの有効活用のPR
- 「水源地の森づくり」植樹会
- 小水力発電所の建設 等

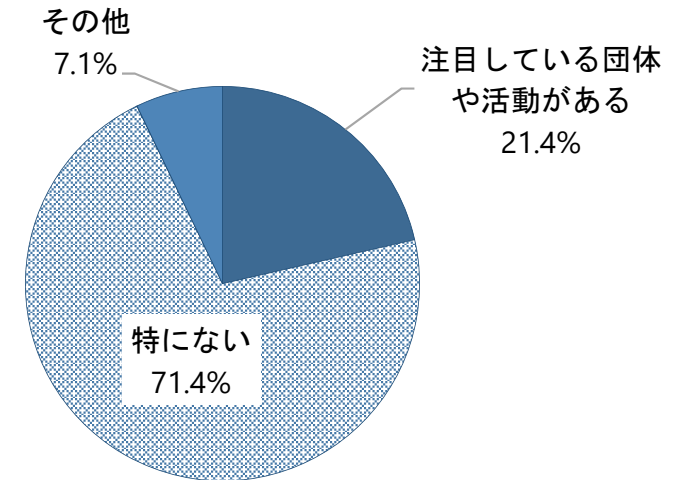


**設問2-1  
団体の強みと弱み**

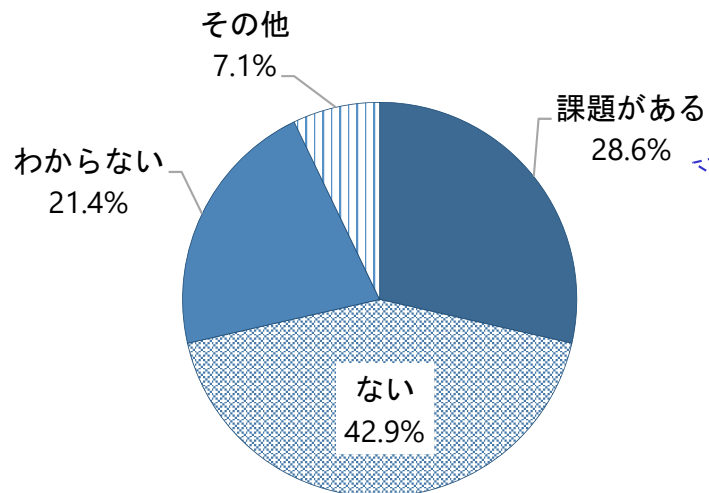


【強み】専門的な知識  
 【弱み】会員の高齢化  
 資金不足  
 参加者不足  
 スタッフ(特に男性)不足

**設問2-2  
今後協力・連携を期待する団体等**

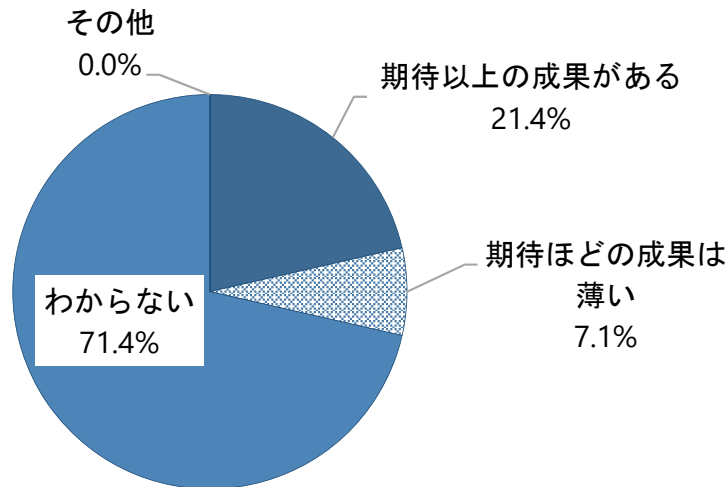


**設問2-3  
協力・連携を図る上での課題**



- 行政、民間会社、活動団体、地区民等の連携が必要
- 流域の河川環境保全に関わる企業団体グループが一堂に会い意見交換を行いたい
- 予算、人材
- 委員会等があるとよい
- 年間事業や戦略等

**設問3-1  
委員会の成果(良い点・効果)について**



**【期待以上の成果がある】**

- 諸活動により水源地域の活性化が図られている
- 地域間交流や美化活動など各種事業を展開し、水源地域の活性化に貢献している

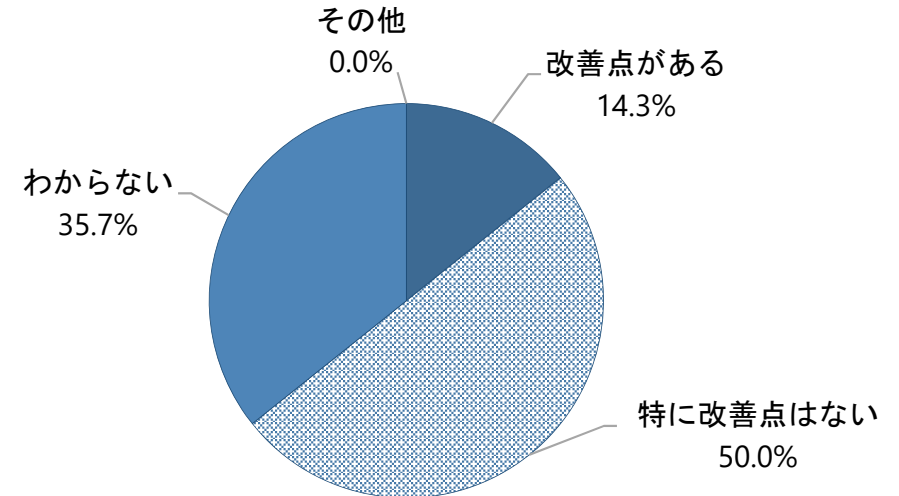
**【期待ほどの成果は薄い】**

- ビジョンの内容がわかりづらいのではないかと

**【わからない】**

- 自己満足の感じがする。日常的に何をやっているのかが一般的には見えて来ない

**設問3-2  
委員会の改善点**



**【改善点がある】**

- 組織として年1回しか集まらないが、活動と同じくする企業、グループ毎の集まりが必要では
- 広報活動…取りくみの紹介、参加要請など